

八戸市復興計画  
市民アンケート調査  
報告書

平成23年7月



# ～ 目 次 ～

1．調査の概要	
( 1 ) 調査の目的	… 1
( 2 ) 調査項目	… 1
( 3 ) 調査対象	… 1
( 4 ) 調査方法	… 2
( 5 ) 調査期間	… 2
( 6 ) 回収状況	… 2
2．回答者の属性	
( 1 ) 性別	… 3
( 2 ) 年齢	… 3
( 3 ) 家族構成	… 3
( 4 ) 居住地域	… 4
( 5 ) 住居	… 4
( 6 ) 職業	… 4
3．アンケート結果（問1～10）	
<u>被害状況と震災時の行動</u>	
( 1 ) 震災による被害について	… 5
( 2 ) 震災発生時の避難行動について	… 5
( 3 ) 震災以降困っていることについて	… 6
<u>被災者の生活再建</u>	
( 4 ) 生活再建に向けて必要な支援策について	… 6
<u>地域経済の再興</u>	
( 5 ) 産業復興に向けて必要な支援策について	… 7
<u>都市基盤の再建</u>	
( 6 ) 復興に向けた都市整備について	… 7
( 7 ) 復興に向けた港湾・漁港施設の整備について	… 8
<u>防災力の強化</u>	
( 8 ) 大規模な災害に備えた地域の取り組みについて（共助）	… 8
( 9 ) 大規模な災害への備えについて（市全体）	… 9
( 10 ) 復興に向けた協力意識について	… 9
具体的な協力内容について	… 10
4．クロス集計結果（回答者の属性・問2 × 問4～9）	
<u>パターン 居住地区別の集計結果</u>	
「居住地区」×「問4_生活再建」	… 11
「居住地区」×「問5_産業復興」	… 12

「居住地区」×「問6_都市整備」	・・・12
「居住地区」×「問7_港湾・漁港整備」	・・・13
「居住地区」×「問8_災害に備えた地域の取り組み（共助）」	・・・13
「居住地区」×「問9_市全体の防災体制」	・・・14
<u>パターン</u> 避難行動の有無による集計結果	
「避難行動」×「問4_生活再建」	・・・14
「避難行動」×「問5_産業復興」	・・・15
「避難行動」×「問6_都市整備」	・・・15
「避難行動」×「問7_港湾・漁港整備」	・・・16
「避難行動」×「問8_災害に備えた地域の取り組み（共助）」	・・・16
「避難行動」×「問9_市全体の防災体制」	・・・17
5. 自由記入欄（問11）	・・・18
参考. アンケート調査票	・・・28

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

この調査は、復興計画の策定にあたって、広く市民から意見を収集し、市民の意見を反映した計画づくりを行うことを目的として実施しました。

### (2) 調査項目

市民の震災時の行動や被害状況を把握するとともに、復興計画の策定方針として定めた4つの基本方向(被災者の生活再建、地域経済の再興、都市基盤の再建、防災体制の強化)に関して、市民の意識・意見について設問を設定しています。

### (3) 調査対象

当市に在住する満18歳以上の方(平成23年5月15日時点)から、無作為に1,000人を抽出しています。

ただし、抽出者に偏りが出ないように地区別の人口割合、男女別の人口割合、年齢階層別の人口割合を考慮して抽出しています。

表1 地区別の抽出数一覧

地区名	18歳以上 男性	18歳以上 女性	18歳以上 男女計	男性 抽出数	女性 抽出数	抽出数 男女計
三八城	5,072	5,612	10,684	25	28	53
柏崎	4,159	4,961	9,120	21	25	46
吹上	6,155	7,329	13,484	31	37	68
長者	4,707	5,582	10,289	24	28	52
小中野	3,711	4,276	7,987	19	21	40
江陽	2,277	2,536	4,813	11	13	24
湊	7,131	7,814	14,945	36	39	75
白銀	11,321	12,656	23,977	56	63	119
鮫	3,272	3,691	6,963	16	19	35
根城	7,004	8,208	15,212	35	41	76
白山台	2,952	3,128	6,080	15	16	31
是川	2,184	2,436	4,620	11	12	23
上長	4,127	4,499	8,626	21	23	44
市川	5,429	5,253	10,682	27	26	53
館	1,673	1,835	3,508	8	9	17
豊崎	779	886	1,665	4	4	8
大館	7,745	8,557	16,302	39	43	82
下長	11,045	11,518	22,563	55	58	113
南浜	1,366	1,396	2,762	7	7	14
南郷区	2,542	2,719	5,261	13	14	27
総計	94,651	104,892	199,543	474	526	1,000

表 2 年齢別の抽出数一覧

年代別	10代・20代	30代	40代	50代	60台	70代以上	計
男性人口	13,667	15,712	15,947	16,787	16,936	15,602	94,651
女性人口	13,597	15,185	16,144	17,295	18,922	23,749	104,892
総人口	27,264	30,897	32,091	34,082	35,858	39,351	199,543
男性抽出数	68	80	81	84	84	77	474
女性抽出数	67	75	84	86	95	119	526
抽出数	135	155	165	170	179	196	1,000
抽出率	13.5%	15.5%	16.5%	17.0%	17.9%	19.6%	100.0%

( 4 ) 調査方法

郵送による配布・回収 (お礼状兼督促状を1回送付)

( 5 ) 調査期間

平成 23 年 5 月 25 日 (水) ~ 6 月 10 日 (金)

( 6 ) 回収状況

配布数 1,000 票に対して、有効回収数は 653 票、有効回収率は 65.3%でした。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別

回答者の性別は、「男性」40.4%、「女性」53.9%と女性の割合が高くなっています。

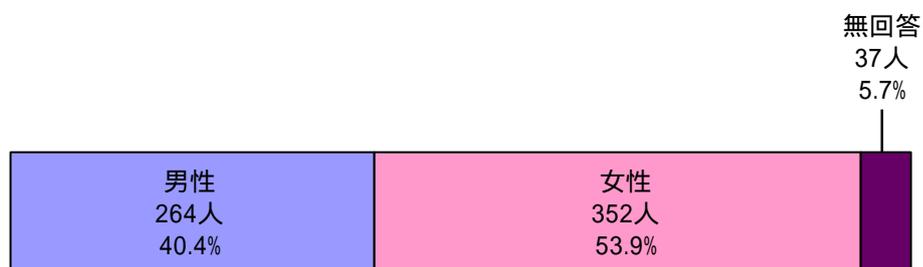


図 1 性別

### (2) 年齢

回答者の年齢は、「60代」が19.0%と最も多い割合を占め、「50代」18.2%、「70代以上」17.6%となっています。

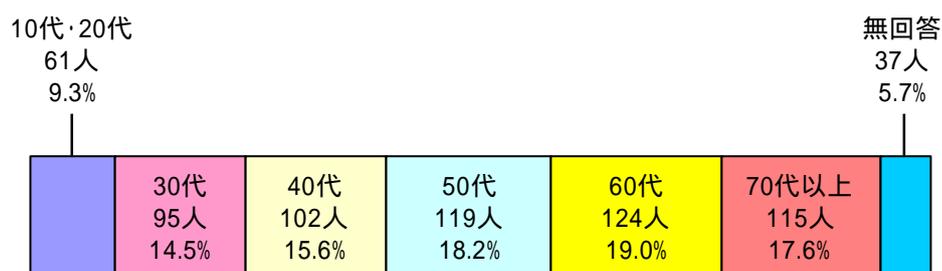


図 2 年齢

### (3) 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が45.8%と最も多い割合を占め、次いで「夫婦世帯」が26.0%、「三世世代世帯」が11.6%となっています。

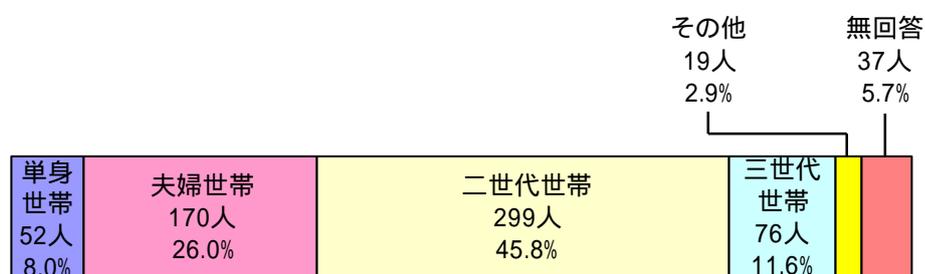


図 3 家族構成

(4) 居住地域

回答者の居住地域は、「白銀」と「下長」が74と最も多く、次いで「大館」が62となっています。

表3 回答者の居住地域

地区名	回答数	地区名	回答数	地区名	回答数
三八城	21	白銀	74	館	12
柏崎	20	鮫	28	豊崎	5
吹上	44	根城	43	大館	62
長者	31	白山台	23	下長	74
小中野	23	是川	19	南浜	5
江陽	16	上長	21	南郷区	13
湊	41	市川	34	無回答	44
				総計	653

(5) 住居

回答者の住居は、「持ち家」が70.1%と最も多い割合を占め、次いで「集合住宅」が15.6%、「借家」が8.0%となっています。



図4 住居

(6) 職業

回答者の職業は、「会社員・会社役員」が29.4%と最も多い割合を占め、次いで「無職」が27.4%、「家事専業」が11.0%となっています。

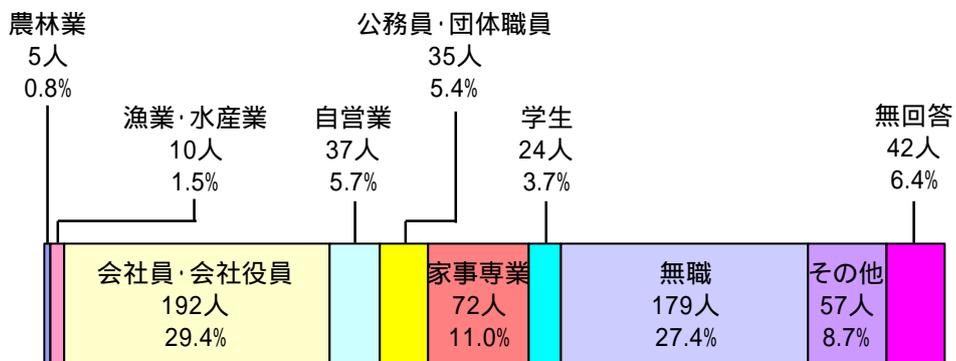


図5 職業

### 3. アンケート結果（問1～10）

#### 被害状況と震災時の行動

##### （1）震災による被害について

問1 あなたは、震災（地震および津波）によってどのような被害を受けましたか。  
（あてはまること全て選択）

八戸市内では、地震の揺れによる被害よりも津波による沿岸部の被害が大きかったため、403人の方が「被害は無かった」と回答しています。

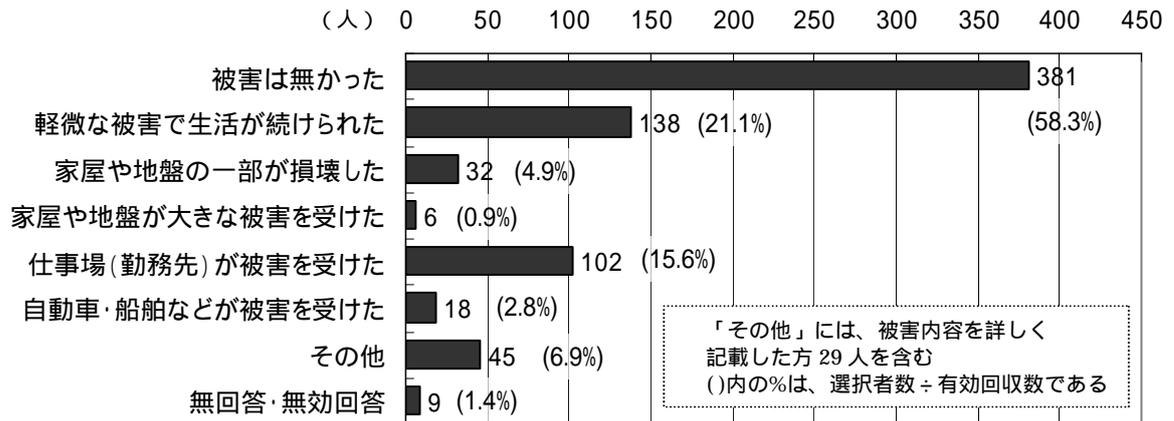


図6 震災による被害について

##### （2）震災発生時の避難行動について

問2 あなたは、今回の震災発生時に避難行動をしましたか。行動した場合は、何をきっかけに避難しましたか。（あてはまること全て選択）

避難行動のきっかけは、「ラジオやテレビの情報」が95人、「勤務先での指示」が69人、「防災無線や広報車の放送」と「人づてに知り避難した」が33人となっています。

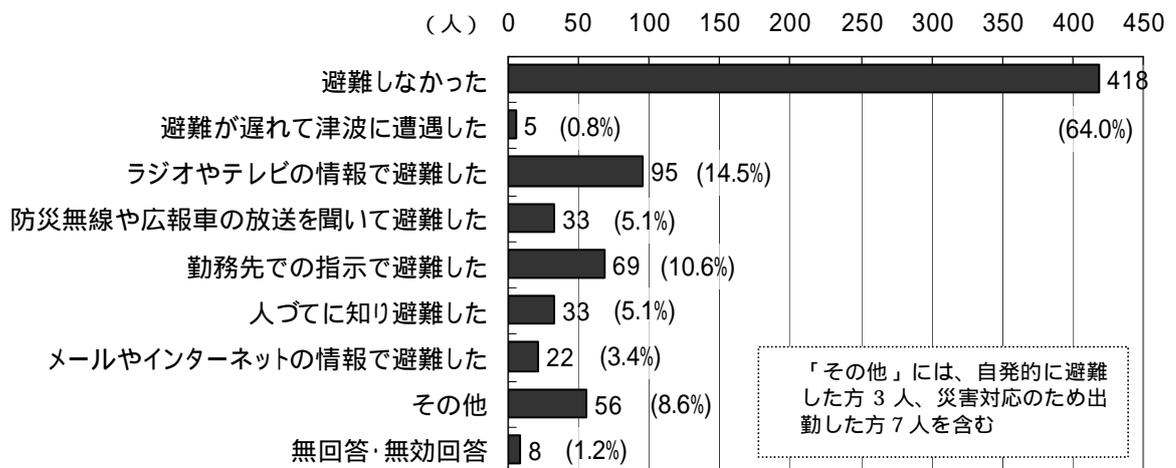


図7 震災発生時の避難行動について

参考）八戸市内では、大津波警報発表に伴い沿岸地域の約3万人（全人口の約13%）に避難指示が出されています。

(3) 震災以降困っていることについて

問3 あなたは、震災以降、何か困っていることがありますか。  
(あてはまること全て選択)

震災以降、困っていることについては、「体調や気分が悪化した」方が113人、「震災の影響で収入が減少した」方が110人と多くなっています。また、381人の方が「特に無し」と回答しています。これは、問1で「被害は無かった」と回答した方とほぼ同数となっています。

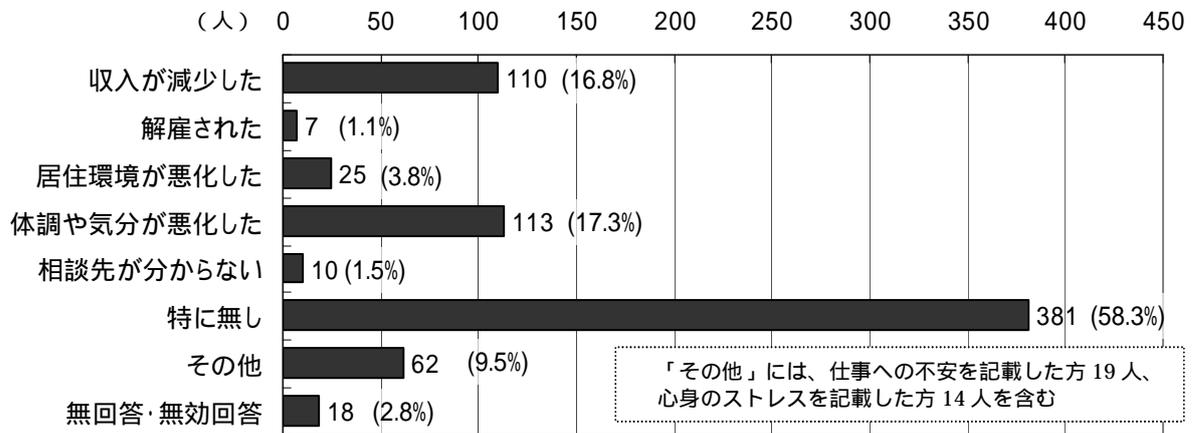


図8 震災以降困っていることについて

**被災者の生活再建**

(4) 生活再建に向けて必要な支援策について

問4 あなたは、被災した方々の生活再建を進める上で、どのような支援策が重要だと考えますか。(3つまで選択)

被災した方々の生活再建に向けた支援策については、「生活資金の支給や貸付」が413人、「雇用支援の強化」が371人と多く、「住宅確保の支援」が300人、「税・手数料等の減免、徴収猶予」が204人と続いています。

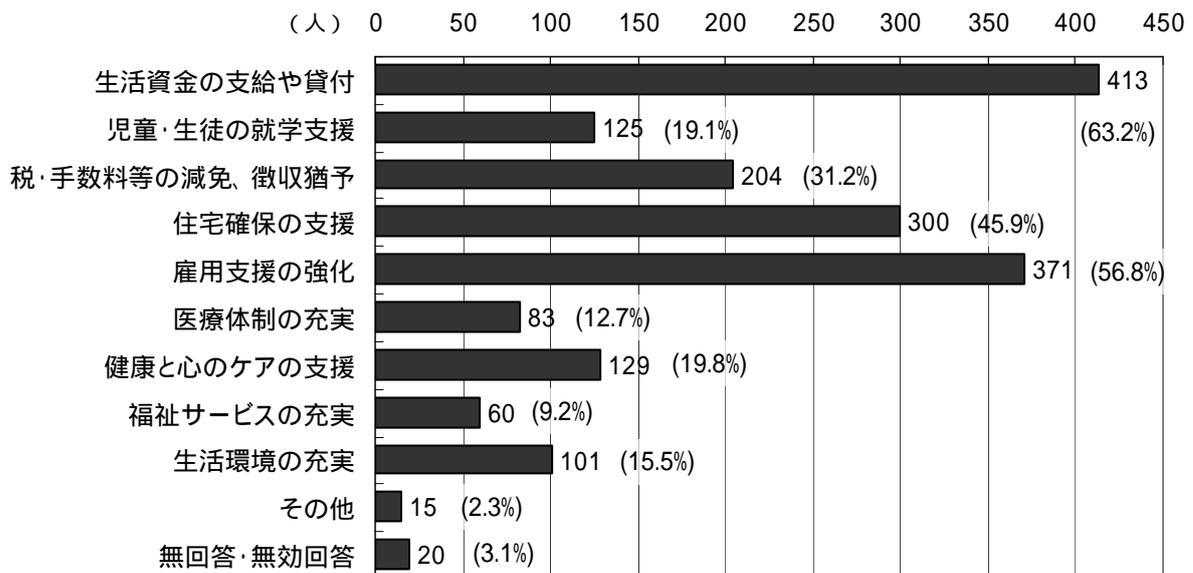


図9 生活再建に向けて必要な支援策について

## 地域経済の再興

### (5) 産業復興に向けて必要な支援策について

問5 あなたは、ものづくりや農林水産業、観光等の産業活動を再興させる上で、事業者に対してどのような支援策が重要だと考えますか。(2つまで選択)

産業活動の再興に向けた支援策については、「施設や設備の復旧に対する補助金」が395人と最も多く、「雇用に対する助成金」が233人、「低利融資または保証」が225人と続いています。

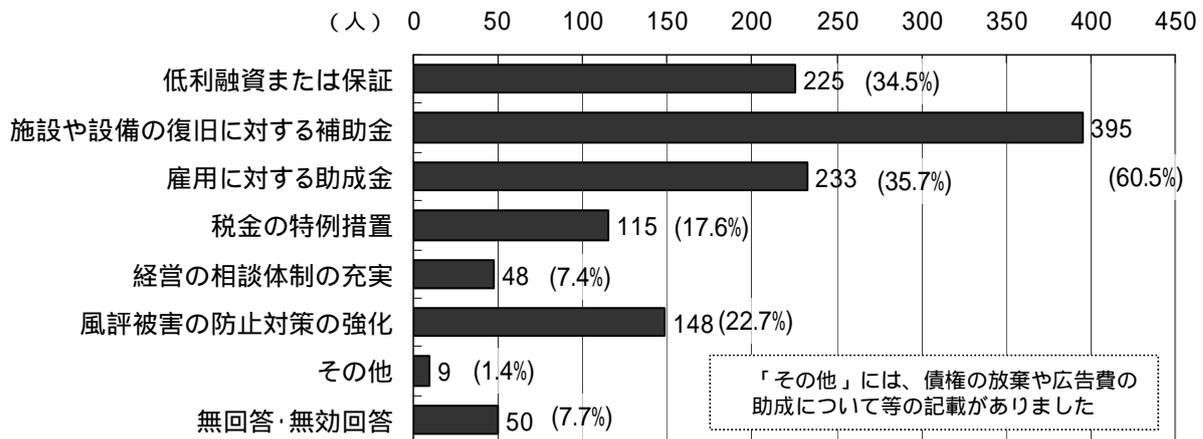


図10 産業復興に向けて必要な支援策について

## 都市基盤の再建

### (6) 復興に向けた都市整備について

問6 あなたは、復興に向けてどのように都市整備を進めれば良いと考えますか。(2つまで選択)

復興に向けた都市整備については、「防波堤や防潮堤等の整備」が314人、「河川や海岸の整備」が257人、「危険箇所の土地利用の見直し」が250人と多くなっています。

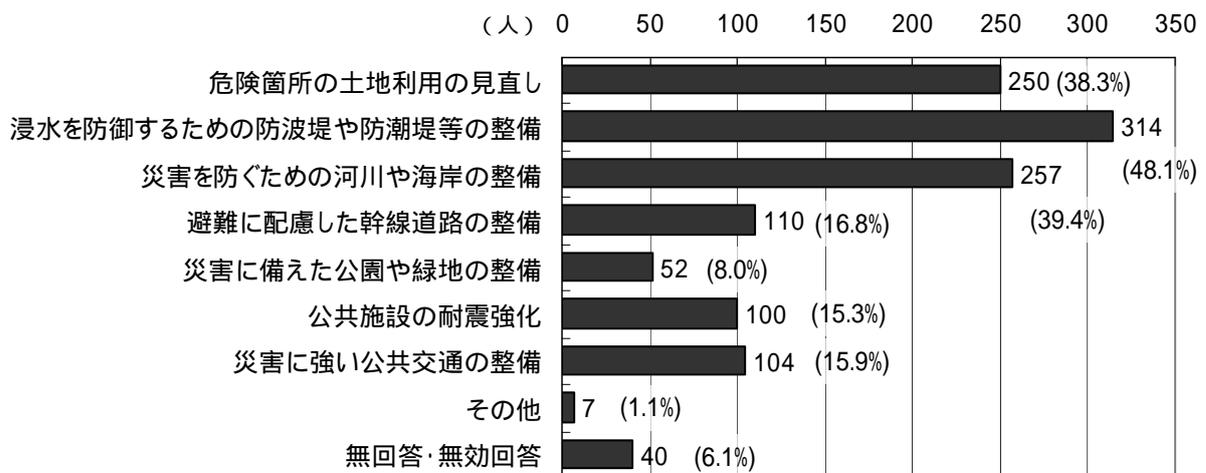


図11 復興に向けた都市整備について

(7) 復興に向けた港湾・漁港施設の整備について

問7 あなたは、復興に向けてどのように港湾・漁港の整備を進めれば良いと考えますか。(2つまで選択)

復興に向けた港湾・漁港整備については、「魚市場の集約化と衛生管理の高度化」が421人、「物流機能の強化」が328人、「エネルギー関連産業の集積」が176人と多くなっています。

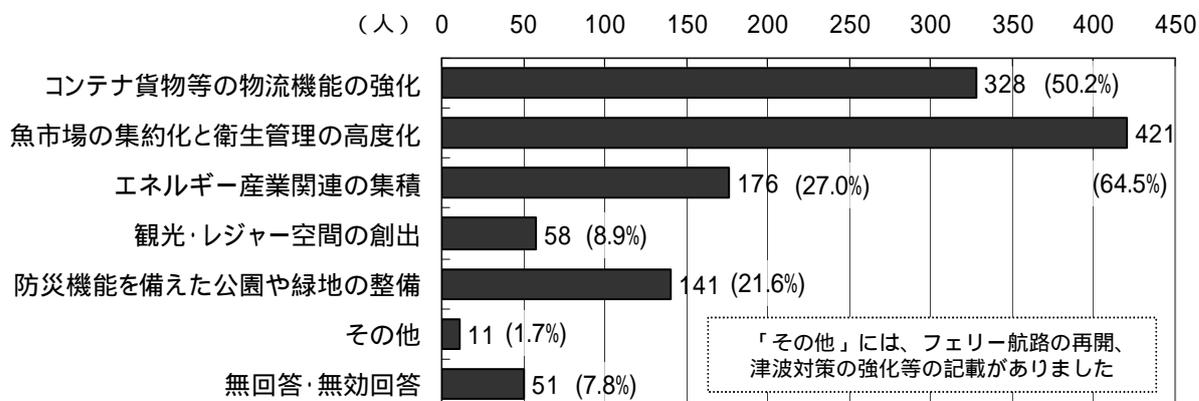


図12 復興に向けた港湾・漁港施設の整備について

**防災力の強化**

(8) 大規模な災害に備えた地域の取り組みについて(共助)

問8 あなたは、地震や水害等の大規模な災害に備えて、身近な地域ではどのような活動が重要と考えますか。(2つまで選択)

身近な地域における大規模災害への備えについては、「地域での情報伝達や連絡体制づくり」が346人、「高齢者等の要援護者の把握と支援」が276人と高く、「飲食料や資機材の計画的な備蓄」が243人、「防災訓練や避難訓練の実施」が186人と続いています。

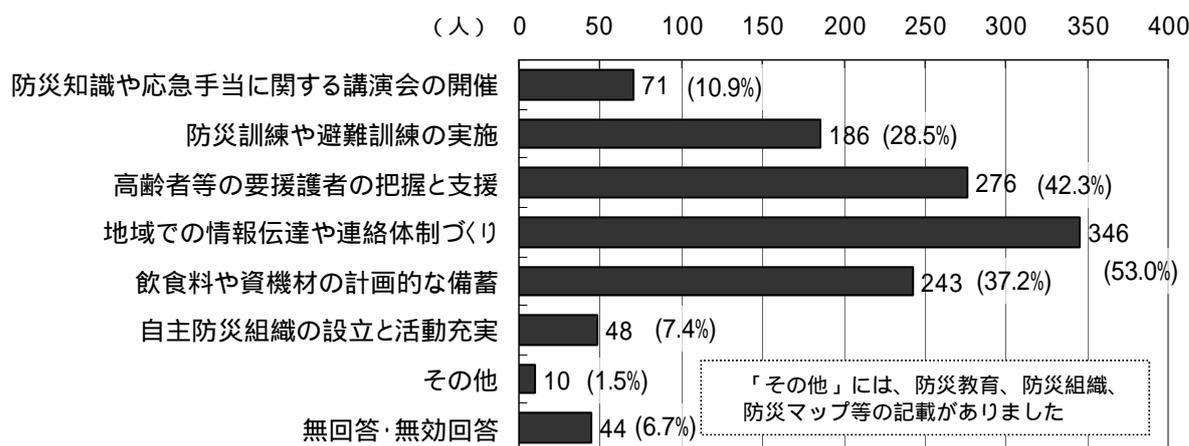


図13 大規模な災害に備えた地域の取り組みについて(共助)

(9) 大規模な災害への備えについて(市全体)

問9 あなたは、市全体として防災体制の強化を図る上で、どのようなことが重要だと考えますか。(3つまで選択)

市全体としての防災体制強化については、「ライフラインの耐震強化」が422人、「情報連絡体制の充実」が307人、「行政の危機対応力の強化」が215人と多くなっています。

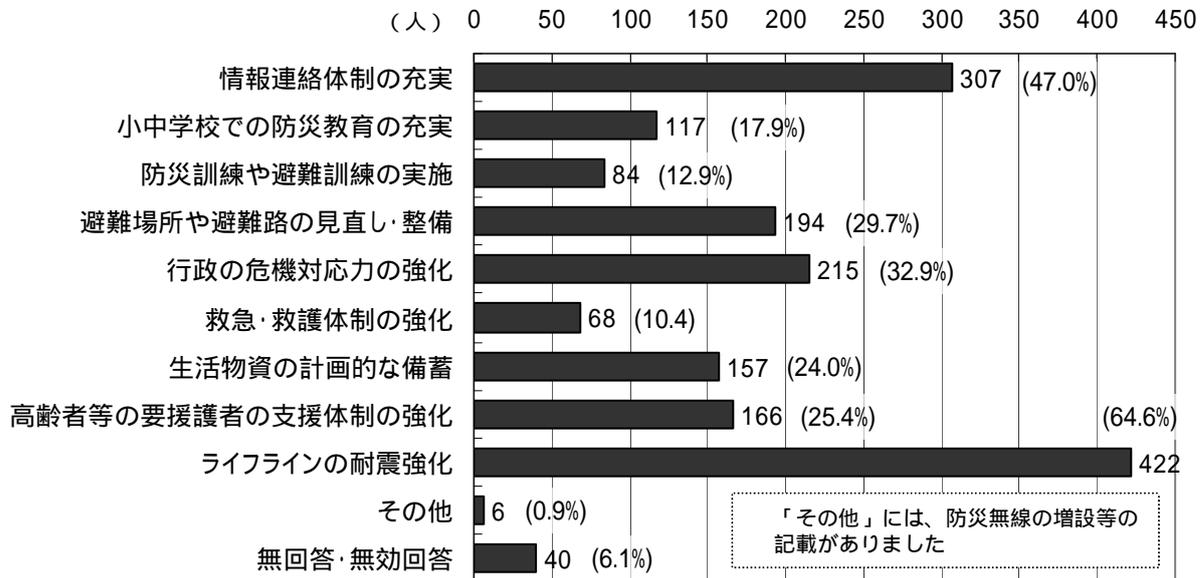


図14 大規模な災害への備えについて(市全体)

(10) 復興に向けた協力意識について

問10 あなたは、震災復興に向けて何か協力したいと考えていますか。

震災復興に向けた協力については、「協力したいと思う」が445人で68.1%と多くなっています。

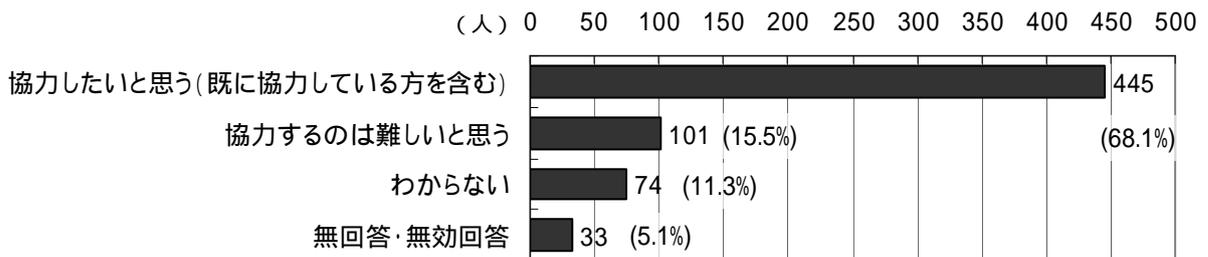


図15 復興に向けた協力意識について

問 10 - 2 あなたは、具体的にどのようなことに協力できると考えていますか。(あてはまること全て選択)

問 10 で「協力したいと思う」と回答された方のみ回答

具体的な協力内容については、「停電を回避するための節電への協力」が 362 人、「地場産品の積極的な購入」が 276 人と多くなっています。

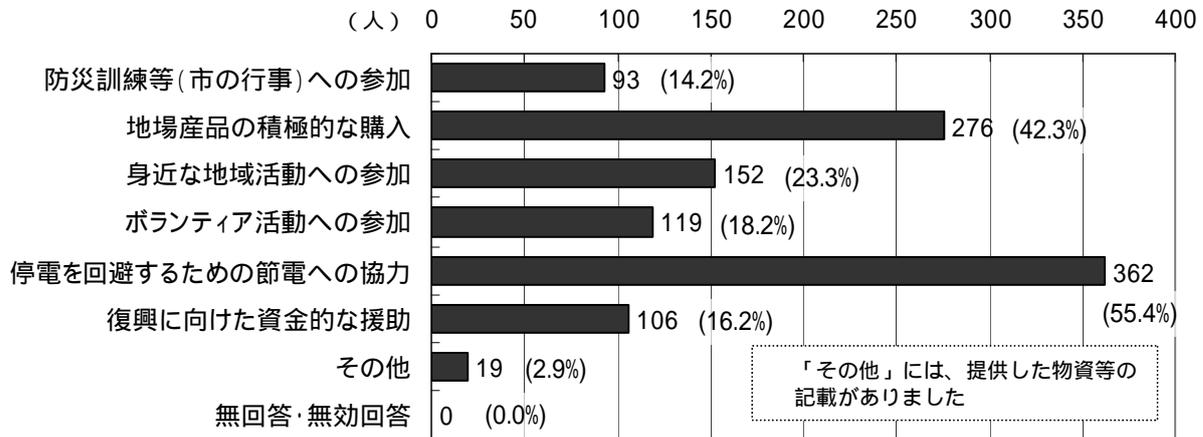


図 16 具体的な協力内容

4. クロス集計結果（回答者の属性・問2 × 問4～9）

クロス集計は、下記の通りパターン、について、問4以降の復興計画の策定方針として定めた4つの基本方向に関する設問に対して集計を行った。

- ・パターン：回答者の属性の「居住地域」の回答を「沿岸地区：316人」か「其他地区：293人」に分類したもの。

沿岸地区は、地区内に海岸線を持った三八城、小中野、江陽、湊、白銀、鮫、市川、下長、南浜の9地区。

其他地区は、地区内に海岸線が無い柏崎、吹上、長者、根城、白山台、是川、上長、館、豊崎、大館、南郷区の11地区

- ・パターン：問2「今回の震災発生時に避難行動をしたか」の回答者を、「避難した：227人」か「避難しなかった：418人」に分類したもの。

なお、パターンについては、居住地域が「無回答・無効回答」の44人、パターンについては、問2の「無回答・無効回答」8人について集計から除外している。

**パターン - 「居住地区」 × 問4 「あなたは、被災した方々の生活再建を進める上で、どのような支援策が重要だと考えますか」**

被災した方々の生活再建に向けた支援策については、『沿岸地区』、『其他地区』ともに差は小さいものの、『沿岸地区』の方が、「住宅確保の支援」を選ぶ割合が僅かに多くなっています。

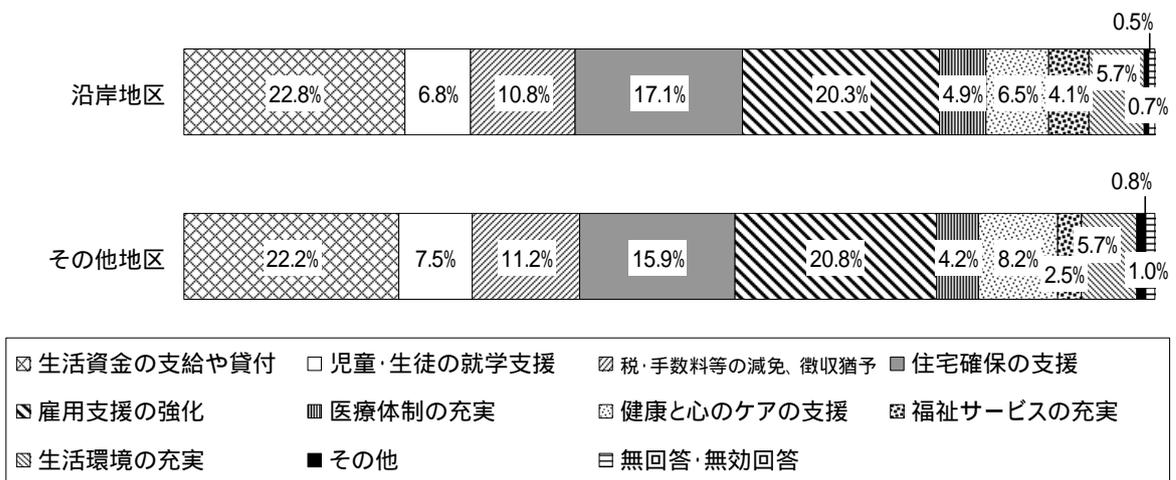


図 17 「居住地区」 × 「生活再建に向けて必要な支援策について」

**パターン - 「居住地区」 × 問5 「あなたは、ものづくりや農林水産業、観光等の産業活動を再興させる上で、事業者に対してどのような支援策が重要だと考えますか」**

産業活動の再興に向けた支援策については、『沿岸地区』、『その他地区』ともに差は小さいものの、『沿岸地区』の方が、「風評被害の防止対策の強化」を選ぶ割合が僅かに多くなっています。

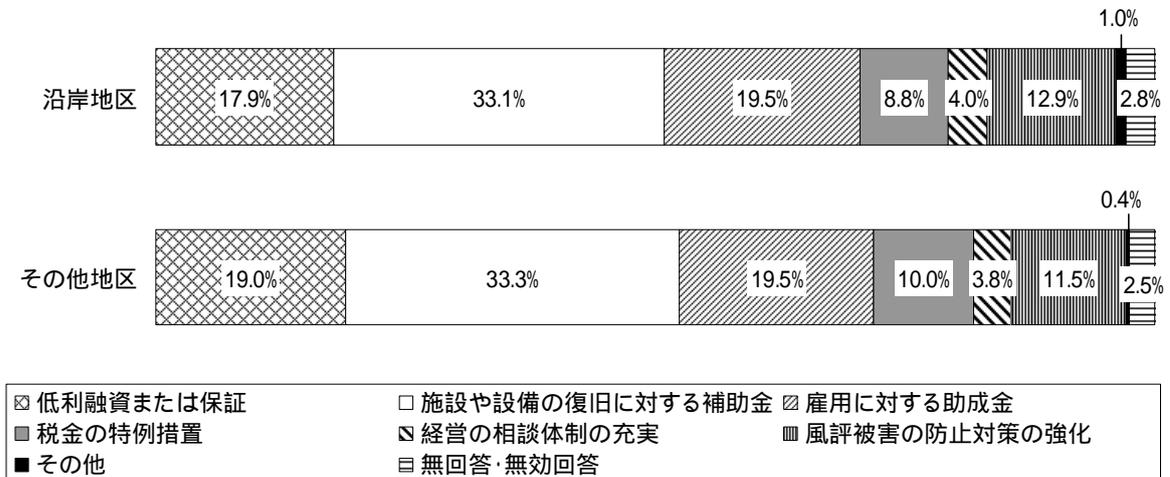


図 18 「居住地区」 × 「産業復興に向けて必要な支援策について」

**パターン - 「居住地区」 × 問6 「あなたは、復興に向けてどのように都市整備を進めれば良いと考えますか」**

復興に向けた都市整備については、『沿岸地区』の方が、「浸水を防御するための防波堤や防潮堤等の整備」を選ぶ割合が多くなっています。

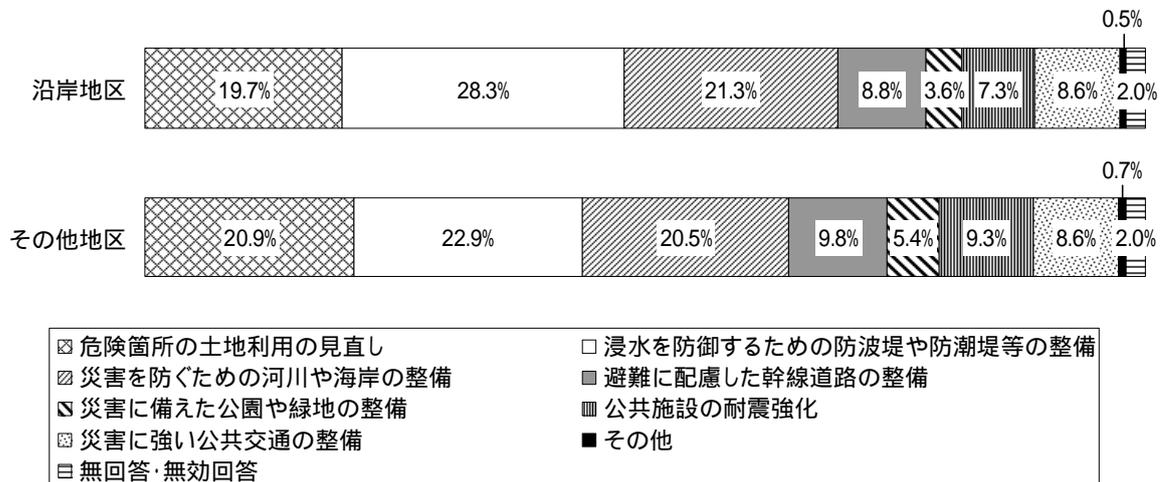


図 18 「居住地区」 × 「復興に向けた都市整備について」

**パターン - 「居住地区」 × 問7 「あなたは、復興に向けてどのように港湾・漁港の整備を進めれば良いと考えますか」**

復興に向けた港湾・漁港整備については、『沿岸地区』の方が、「防災機能を備えた公園や緑地の整備」を選ぶ割合がやや多くなっています。

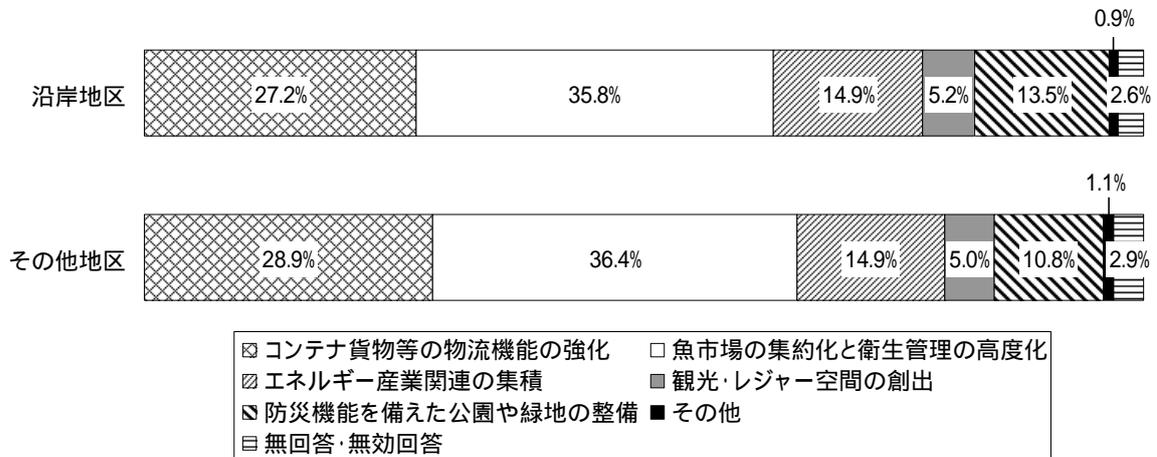


図 19 「居住地区」 × 「復興に向けた港湾・漁港施設の整備について」

**パターン - 「居住地区」 × 問8 「あなたは、地震や水害等の大規模な災害に備えて、身近な地域ではどのような活動が重要と考えますか」**

身近な地域における大規模災害への備えについては、『沿岸地区』の方が、「地域での情報伝達や連絡体制づくり」を選ぶ割合が多くなっています。

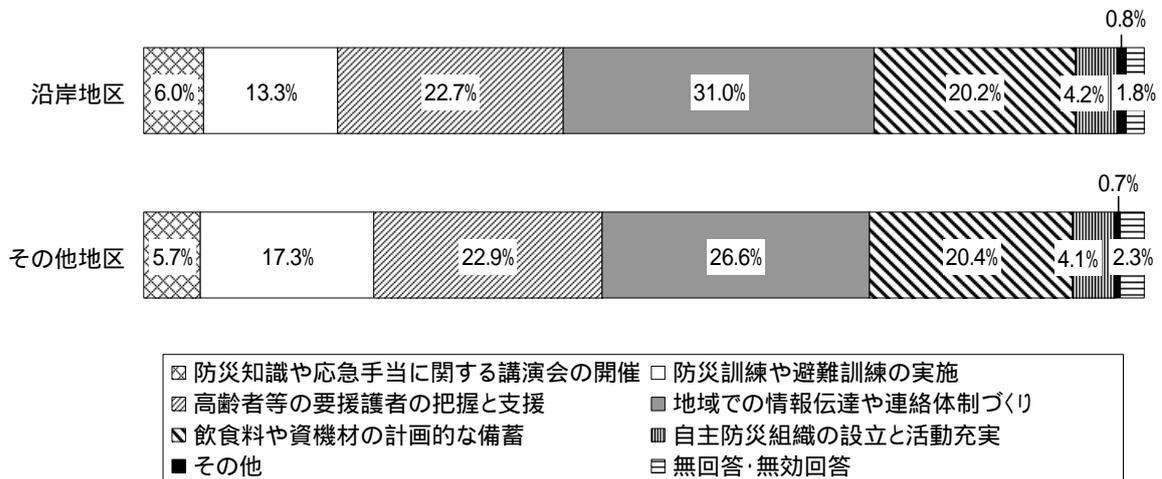


図 20 「居住地区」 × 「大規模な災害に備えた地域の取り組みについて（共助）」

**パターン - 「居住地区」×問9「あなたは、市全体として防災体制の強化を図る上で、どのようなことが重要だと考えますか」**

市全体としての防災体制強化については、『沿岸地区』、『その他地区』ともに差は小さいものの、『沿岸地区』の方が、「避難場所や避難路の見直し・整備」を選ぶ割合が僅かに多くなっています。

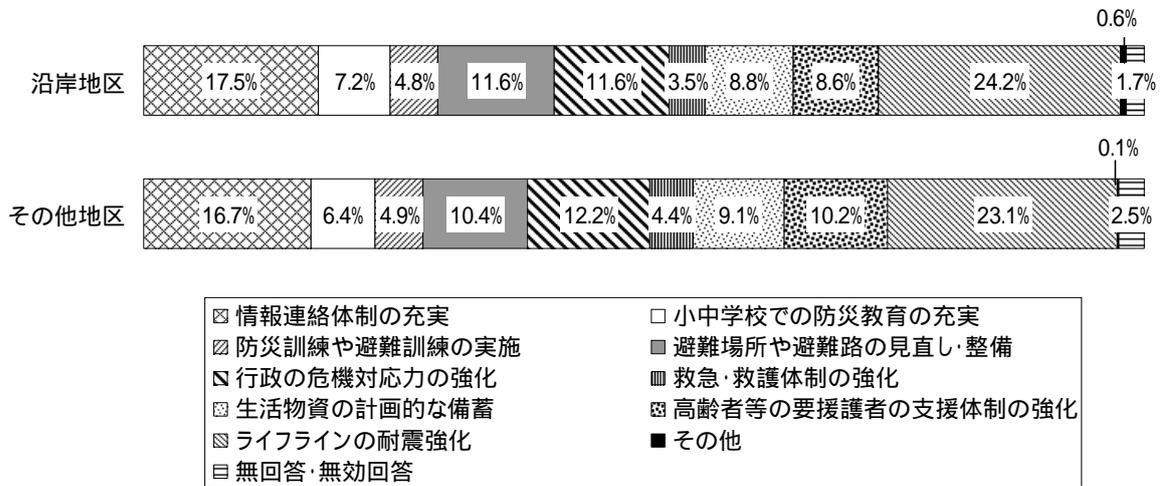


図 21 「居住地区」×「大規模な災害への備えについて（市全体）」

**パターン - 「避難の有無」×問4「あなたは、被災した方々の生活再建を進める上で、どのような支援策が重要だと考えますか」**

被災した方々の生活再建に向けた支援策については、『避難した』、『避難しなかった』ともに差は小さいものの、『避難した』方が、「医療体制の充実」や「生活環境の充実」を選ぶ割合が僅かに多くなっています。

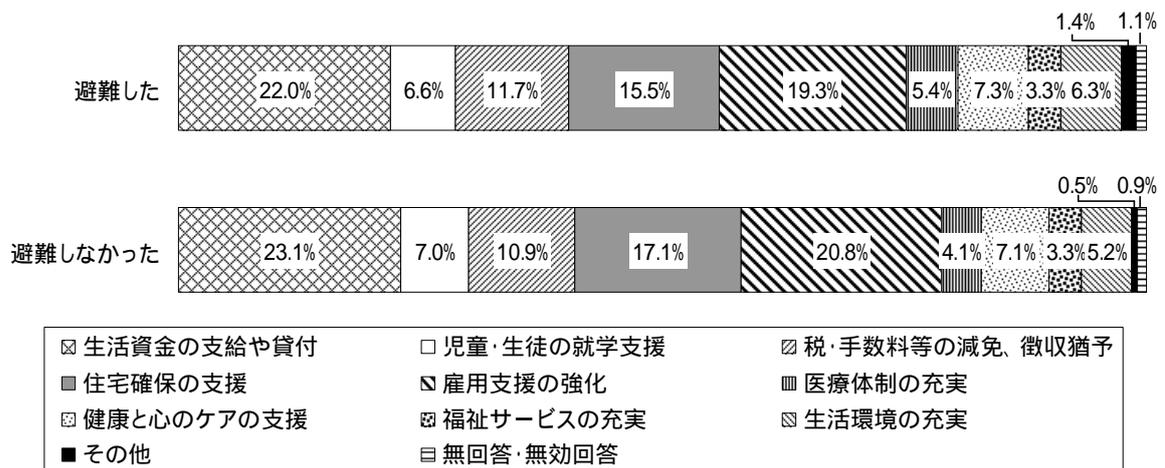


図 22 「震災発生時の避難行動について」×「生活再建に向けて必要な支援策について」

**パターン - 「避難の有無」 × 問5 「あなたは、ものづくりや農林水産業、観光等の産業活動を再興させる上で、事業者に対してどのような支援策が重要だと考えますか」**

産業活動の再興に向けた支援策については、『避難した』方が、「税金の特例措置」や「風評被害の防止対策の強化」を選ぶ割合がやや多くなっています。

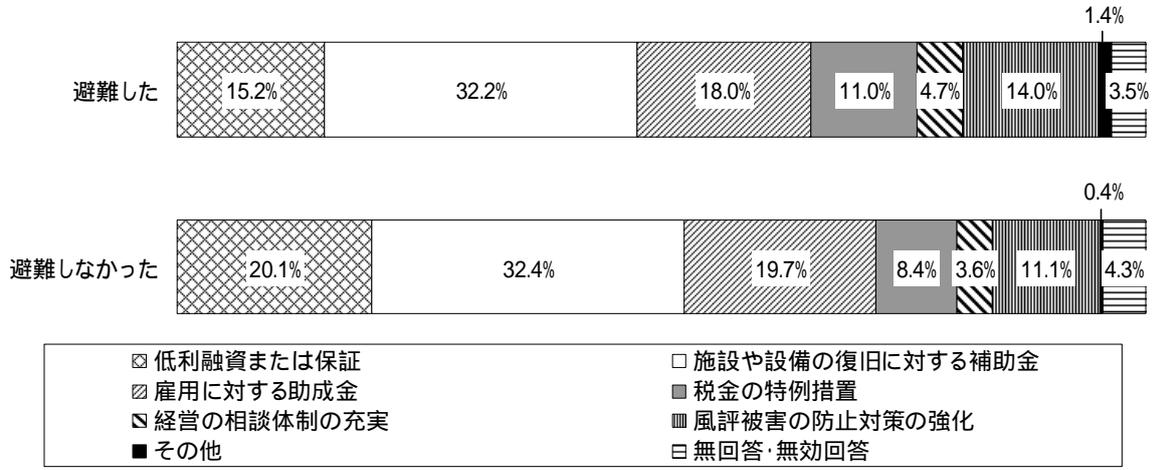


図 18 「震災発生時の避難行動について」 × 「産業復興に向けて必要な支援策について」

**パターン - 「避難の有無」 × 問6 「あなたは、復興に向けてどのように都市整備を進めれば良いと考えますか」**

復興に向けた都市整備については、『避難した』方が、「浸水を防御するための防波堤や防潮堤等の整備」を選ぶ割合が多くなっています。

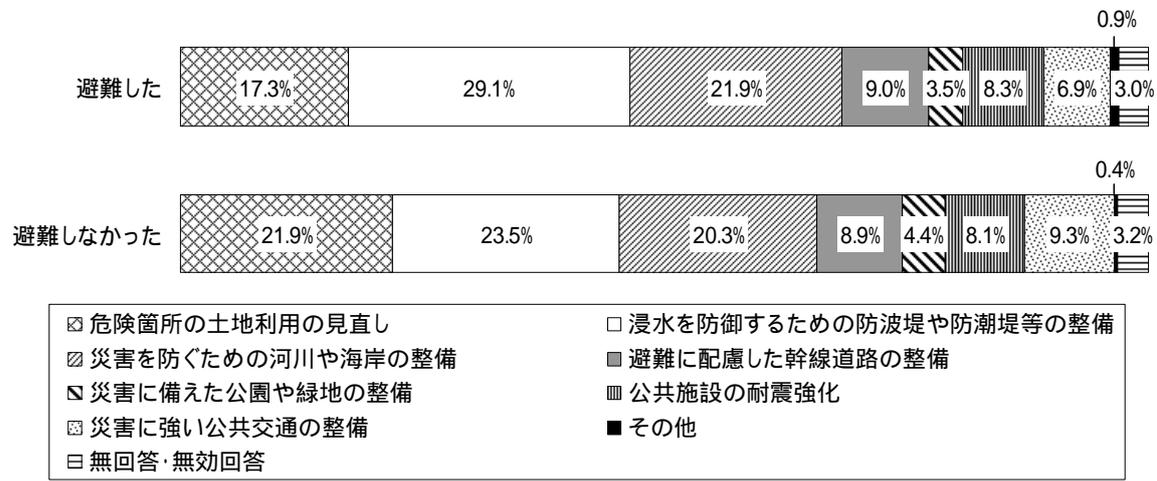


図 23 「震災発生時の避難行動について」 × 「復興に向けた都市整備について」

**パターン - 「避難の有無」 × 問7 「あなたは、復興に向けてどのように港湾・漁港の整備を進めれば良いと考えますか」**

復興に向けた港湾・漁港整備については、『避難した』方が、「防災機能を備えた公園や緑地の整備」を選ぶ割合が多くなっています。

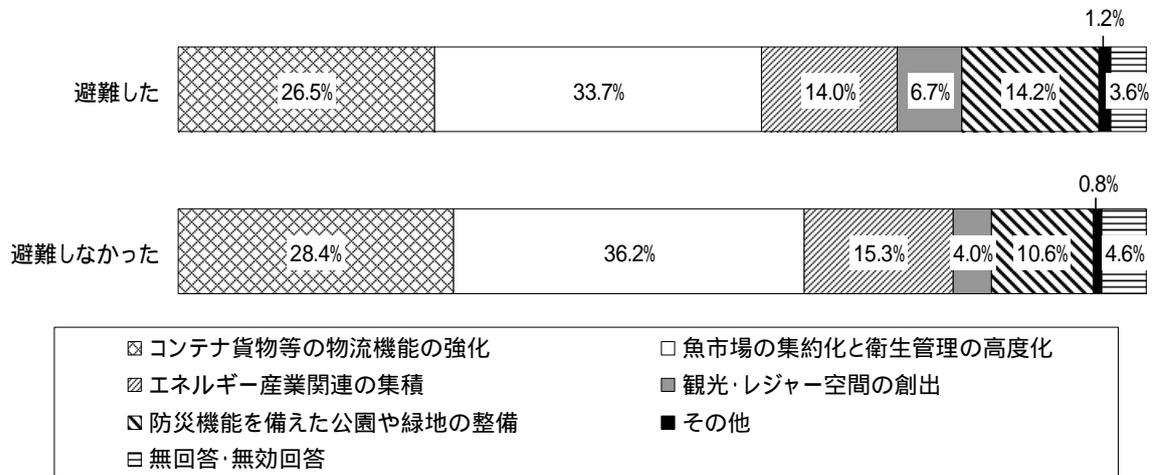


図 24 「震災発生時の避難行動について」 × 「復興に向けた港湾・漁港施設の整備について」

**パターン - 「避難の有無」 × 問8 「あなたは、地震や水害等の大規模な災害に備えて、身近な地域ではどのような活動が重要と考えますか」**

身近な地域における大規模災害への備えについては、『避難した』、『避難しなかった』ともに差は小さいものの、『避難した』方が、「地域での情報伝達や連絡体制づくり」を選ぶ割合がやや多くなっています。

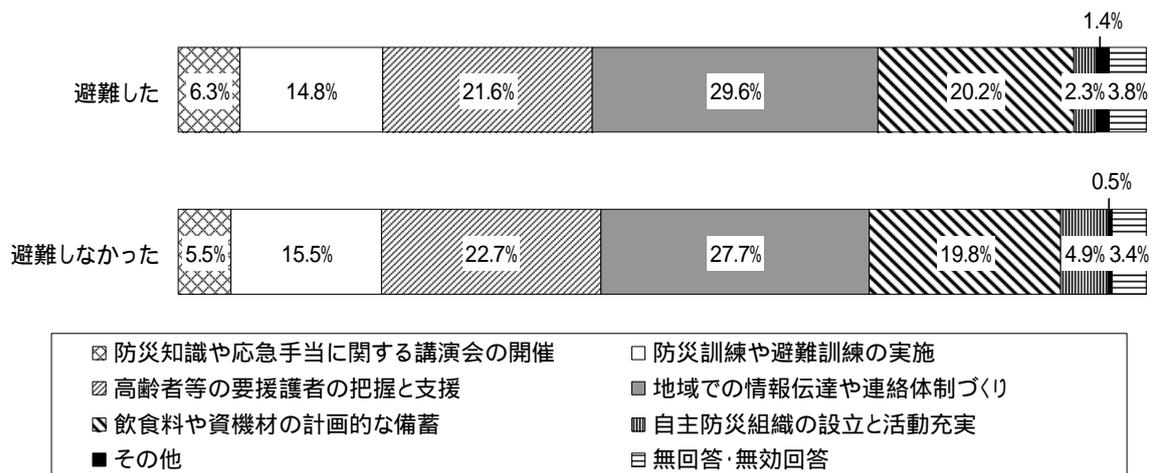


図 25 「震災発生時の避難行動について」 × 「大規模な災害に備えた地域の取り組みについて（共助）」

**パターン** - 「避難の有無」×問9「あなたは、市全体として防災体制の強化を図る上で、どのようなことが重要だと考えますか」

市全体としての防災体制強化については、『避難した』、『避難しなかった』ともに差は小さいが『避難した』方が、「避難場所や避難路の見直し・整備」を選ぶ割合がやや多くなっています。

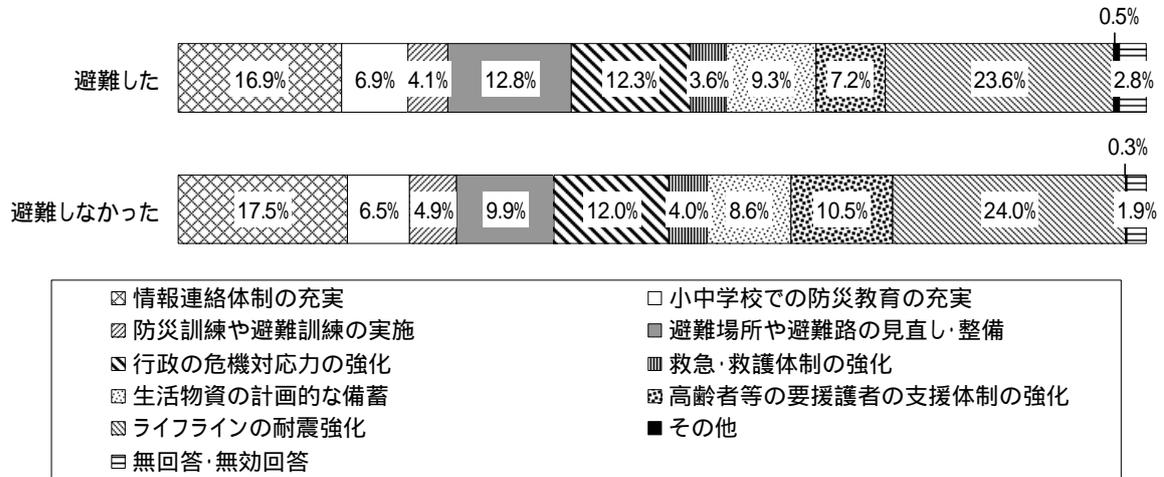


図 26 「震災発生時の避難行動について」×「大規模な災害への備えについて（市全体）」

5. 自由記入欄(問11)

本アンケート調査の自由記入欄には、次の自由意見一覧に掲げるとおり、市民183人からご意見等が寄せられており、復興計画の策定方針における4つの基本方向ごとに整理すると、下表のとおり分類されます。

『基本方向別の自由回答件数』

基本方向	回答数	基本方向	回答数
被災者の生活再建	45	海岸・河川の整備	5
生活支援の充実	15	道路・公園・下水道等の整備	10
住宅確保の支援	4	公共交通の維持・確保	6
雇用対策の強化	15		
暮らしの安心確保	11	防災力の強化	87
		防災体制の強化	60
地域経済の再興	45	(うち、情報発信・連絡体制)	(27)
水産業の再興	16	(うち、避難所について)	(15)
(うち、水産業の経営支援)	(6)	(うち、防災教育・意識の高揚)	(6)
(うち、水産食料基地としての拠点性強化)	(8)	(うち、その他)	(12)
(うち、その他)	(2)	水・エネルギー対策の充実	12
農林畜産業の再興	1	災害に強い地域づくり	15
企業活動の再興	13		
観光・サービス業の再興	13	その他	40
風評被害の防止	2	アンケート調査	6
		その他の意見・要望	34
都市基盤の再建	41		
市街地の整備	9		
港湾の整備	11	総計	258

『自由意見一覧』(183人の方から寄せられた意見等)

**主に被災者の生活再建に関する意見等**

生活支援の充実	被災された方々が必要としていることを把握し、なるべく早く支援して頂きたいと思う。八戸市の被害状況をもっと一般的にわかりやすく知って貰う。具体的に何が必要なのか、町内会を通じて知らせて欲しいと思う。
	被災地に仮設庁舎としてプレハブ等を設置し、役所の機能を持たせて書類等の受付をしてはどうか。
	収入が減少したため、収納課で色々な措置の手続きをした。保育料に対する措置が無いため滞納してしまう事がある。その点を再度検討して欲しい。
	復興でも、支援金を渡すのも、時間的に遅いと思う。被害者は即実行を望んでいる。
	家族が被災して、市から生活支援支度金をいただいた。
	困難の中、被災者が必要な物を買うのに、リストを決めるのを止めて欲しい。
	盛岡では、被災した人(避難所ではなく、親せき宅等)に市で、いろいろな食料などを配ったと聞いた。八戸で実施されたのか分からないが、市町村で支援の差があるので、良いところの市町村の例を参考にし、取り入れて欲しいと思う。
	車を津波で流された。
	車を購入時の税の免除の継続や、補助してもらえると助かる。
	東日本大震災ですべてを失った人もいるが、その中間にいる人達も、いつクビになるかわからない、収入も半分に減り、税金や学費等まともに払っていけない状態ではないので、その日を何とか暮らしている。中高生の子供と住宅ローンもあるのにどうしたら良いのか。中高生がいる家庭に補助金を欲しい。
被災者への支援対策を早急に行い、活気付いた港町にして欲しい。	
本当に困っている人は、家、車、仕事場、人(身内)に被害があった人だけだと思う。他の人は、自力で対処していける。八戸市全体を助ける！！というより、本当に困っている人をどれだけ助けられるか力のみせどころだと思う。	
雇用対策の強化	港の改修整備でもっと積極的に求人をするべきだと感じた。国や東電の対応が最悪でしたが、八戸市はそうならないよう期待する。
	一ヶ所がストップすることにより、関連したところに響いている。生活するためには仕事がないと困る。いち早く、元のように復興できるよう願う。
	まずは雇用です。働く事さえできれば、先の生活も見えてくる。そして被災者への助成(援助)、税金の減免は、この状況では当たり前だと思う。

雇用 対策 の 強化	他県の方で家や家族を亡くされた方に、仕事や住む所を斡旋してあげて欲しい。 八戸地区の雇用の充実を目指して、ふるさとを無くされた方に第2のふるさとにしてもらい、安心して共に暮らせるようになれば良いと思う。
	働く場所を確保して欲しい
	災害で職を失った方達の雇用問題、企業の活性化のための対策は無いものか 雇用の拡大
暮ら しの 安心 確保	他の被災地ほど大きな被害ではなかったが、素早く被災住居等の撤去に動けたのは評価できる。 住宅新築の申請が出たら、基礎に杭を打つことなど補助を考えてはどうか。
	八戸市には一人暮らしの年寄りが多いので優先的に助けに行って欲しい。 学生が就職できる所を増やして欲しい。若い人を八戸に増やして下さい。
	被災された方々への金銭、物資援助のほかに精神面でのケアを行政にお願いしたい、一日も早い復興を 国、県と協力しながら長期的な視野で実施することを要望する。
	ドクターヘリの2台体制早期実現、医師、医療従事者の受入、失業者への支援、補助など。
	今後、数十年は終息しない福島原発問題への対策で、八戸市内の放射能モニタリングを定期的に適切に 行い、計測方法とともに、市ホームページに公開し、八戸市は信用できる事をアピール。 国・県は、今後も原子力発電を推進するしかないので、八戸市もその流れに乗って、各予算をうまく確保し つつ、原子力をどんどん推進させて、八戸市エリアが常に安全になる位の技術レベルと運用レベルにして欲 しい。復興した途端に、「80km圏内は退避勧告」となったら、意味がない。
原子力防災として東通、六ヶ所施設の有事の時の八戸市の対応。 市としても放射線モニタリング数を増すこと。	
災害ゴミの回収体制がどうなっているのかよくわからない。個人で運搬するには、大きな物等トラックを借りて 運ばなければなく、手間がかかる。	

### 主に地域経済の再興に関する意見等

水産 業の 経営 支援	海産物をこれからどのように県内外の人に食べてもらうか、末端で働く人の賃金を少しでも多くする為の工 夫、震災前でもやっと生活ができるくらいの賃金の人が多いのに、震災後、どうなるのか。
	八戸市は第一次産業が主要の産業であり、この回復なくして八戸の復興はない。 融資・補助金は、書類上の手間がかかり被災者にしては、複雑で面倒。 もっと簡素な手続きで融資をして欲しい。例えば資産がある人には簡単な手続きで信用保証、あるいは融資 を早急に円滑にするような法整備が必要である。とにかく早い対応を望む。
	八戸の漁業、水産加工は、県内の景気に大きく影響するので、早い行政の支援をお願いしたい。
	被災した団体、中小企業、個人事業主等の今後の経済の保証があれば倒産する企業が少なくなり、雇用へ の不安が少なくなると思う。 漁師の方々が仕事が無くなり、生活に困っている。 こうした方々の生活の保障を考えていただければと思う。
水産 食料 基地 とし ての 拠点 性強 化	船関係の補助金だけでなく、津波によって被害を受けた建物や機械の設備などの補助金が少しでも出れば いいと思う。その他の被害は食品、資材も実際あり、本当の被災はこれからだと思う。
	八戸は水産都市なので、船も大事でしょうが、水産業の施設(会社)の復興のためにもっと補助金を出して欲 しい。
	八戸港は国内でも有数の漁港であり、水産業の復興が今後の八戸の発展に繋がると思う。 資金融資等の手当てだけでは、負債の償還だけでも大変なので返済が行き詰る。 思い切った事業が必要。軌道にのるまで団体(漁協等)で船を購入し、運営する。購入に対して補助を行 い、所得も一定の収入が保たれる制度も必要である。 さらに、捕れた鮮魚を市場に卸すだけではなく、一部はネット販売を利用して鮮度が良く、八戸沖で捕れた 美味しい魚などと大PRをして消費拡大に繋いでいけたらと思う。 そのための専門的知識を習得させるための講習会などを開催する必要があるのでは。
八戸はやはり海と港、漁港として、工業港として、より発展的な復興を望む。 蕪島、種差、白浜の発展等、海の回復、川の観光船ボート等	
八戸市は有数の水産都市なので津波等の被害は重大な損失となりかねない。 整備は早急をお願いしたい。	

水産食料基地としての拠点性強化	<p>八戸の個性・特長を生かした復興でなければ金の無駄使いになる。そうでなくても中心街が寂れて来ている。八戸は「魚」である。水産業・観光レジャー・港湾業あたりが他と違って群を抜いていなければ八戸市自体が弱体化し「ゴースタウン」になってしまう。魚市場、衛生、物流その他においても他に誇れるものとして欲しい。観光客に感動とまた来たい、八戸は違うと評価されるように行政も地元の産業(特に観光・レジャー)が躍進するよう、サポートしなければならないと思う。そのためにもよく考え、良いものを発見したり育て上げたり、他県や国際的な都市の成功例などの取り入れ、いずれも人的センスが必要。何が市を潤すものとなるか、大手企業がどうしたらきてくれるか、もっと市民が入って討議できる場が欲しい。急務は住居、交通(道路、航路、JR)、岸壁(特に津波に対する安全対策)「どうなりたいか」目指す目的をハッキリ持つ。</p>
	<p>八戸の特徴(農林水産業)を生かした復興を望む。震災前からの不況も含んだ影響も有り、早期の雇用拡大を望む。</p>
	<p>ハマ再生と結びついた復興事業を望む</p>
	<p>八戸市は漁業の町なので、この機会にまた漁業で盛り上げて欲しい。</p> <p>震災直後は、八戸の浸水地区はどこまでか等、情報がなく本当に不安だった。津波の心配がない地区は、パトカーの姿もなく。唯一、新聞が来てくれたのがものすごく嬉しかったです。「情報、連絡体制の充実」は、確立して欲しい。八戸の港が早く元に戻りますように。そして東北の水産業の拠点となり、活気づいていけるといいですね。がんばろう八戸！！</p>
企業活動の再興	<p>会社の事務所機能は津波のため全壊となった。『また津波が心配』と言う者もあり、この場所で良いのか迷っている。金融機関からの勧めもあり、中小企業災害復旧枠を利用して、高台への移転も考えているが、復興枠1億円以内にも関わらず、予定の金額の内諾もいただけずガッカリしています。現在地で復興して、何年後に、また津波が来たらと考えると、何のための災害復旧枠なのかと疑問を感じる。</p>
	<p>被災事業者の固定資産税の減免措置の基準として、施設被害は取得価格の10%とされている。例えば、1千万円の施設は百万円の被害があれば減免を受けられるが、取得1億円の施設は1千万円の被害がないと減免対象にならない。被害額に応じた措置等について検討の余地があるのではないか。</p>
	<p>夫の会社が早く稼働して欲しい。中高生の子供が2人がいるのに、私も無職で収入が減っている。</p>
	<p>地場産業のさらなる強化充実を願う</p> <p>地域性を生かした企業誘致と雇用促進</p> <p>企業誘致など、多くの仕事が必要だと考える。若者の流出を止める工夫をお願いします。</p> <p>LNG、国際コンテナ等中心に、産業発展を目指して欲しい。規制緩和による企業誘致。海自の八戸空港の民間開放に向けた動きをして欲しい。</p>
観光・サービスの再興	<p>水産業のみでなく、観光業に力を入れ、リピーターが足を運ぶ観光を考え、力をつけて欲しい。</p>
	<p>八戸駅周辺のインフラ整備及び移動手段の充実 地域に根差したスポーツチームへのサポート 首都圏からでも日帰りできるメリットの追及 夕方以降に来八する人への優遇(宿泊料金半額等、観光業界) 沿岸沿いに太平洋を眺望できる温泉施設の建設 有権者への定期的アンケートの実施</p> <p>はっちの様な施設も大事だと思うが、もっとたくさんの雇用が生まれるような、総合的な観光を兼ねた複合施設(海産物の生産から販売、観光)のようなものを海側に作り、より多くの観光客が来る八戸市にしていって欲しい。</p> <p>この度の震災で皆様の日夜を問わないご努力に市民の一人として心強い思い。八戸の観光の玄関でもあり、訪れる人の多い蕪島周辺の整備が一日も早いことを願う。</p>

	<p>八戸の海岸は蕪島や葦毛崎の辺りから遊歩道、種差海岸等、美しい所が沢山あるのにPR不足。その近辺に「八戸はここ」というくらいの名物があったらいいと思う。 八戸に行ったらどこへ行けばいいか、何がおいしいのと聞かれますが、港町は同じような気がする。</p>
観光・サービス業の再興	<p>はっちは必要だったのか。 三社大祭は、前夜祭か後夜祭に山車を大きく見せられる広い道路で運行し、多くの観光客に見てもらえる工夫が必要、山車だけの運行でよいと思う。 大型バスの駐車場を近くに確保する、児童科学館とか地域の広い場所を探してみる、45号線の類家通り、ゆりの木通りが道路が広く観客も多く見れると思う。</p>
	<p>イベントの積極的な開催。 浜の朝市の早期再開、多人数が動く事(お金が動く)を考えないと町も動けないと思う。</p>
	<p>多少の経費はかかりますが、日曜朝市、三社大祭に芸能人を呼んで欲しい。特に日曜朝市は1回や2回では意味がなく、定期的呼んで欲しい。八戸市の集客アップにつながると思う。 芸能人といってもギャラが高いとお金もかかるので、例えば東北や北関東のお笑い芸人を集めてもいいと思う。とにかく、八戸に人を集めなければ、経済復興にはなりません！！はっちや縄文遺跡だけにお金を使うのではなく、芸能人を呼び、集客につなげることも有意義なお金の使い方だと思う。</p>
	<p>本八戸駅前の坂の辺りを直して欲しい。 中心街は飲み屋が多く、昼間は寂しい。空きビルも何とかして欲しい。 はっちも出来たので中心街も負けずに頑張ってもらいたい。 はっち利用の際に駐車料金をとられるのはショックだった。</p>
	<p>お金を使うことが復興の手助けになると聞くと、八戸はこうした場所を上手く作れていない気がする。</p>
	<p>中心街には、明るく楽しく輝いている商店街やデパートがあるように、もう少し品格の高いまちづくりに力を注ぎていった方がよいと思う。</p>
	<p>中心街がもっと栄えるような政策をお願いします。交通の利便性を高めて欲しいし、高齢者をいたわる八戸市であって欲しい。</p>

### 主に都市基盤の再建に関する意見等

市街地の整備	<p>八戸市は海から開けた町ですので、これからも同じ考えでよいのではと思う。 地震に強い津波に強い港湾を作ってはどうか。防波堤を二重になるように、今の防波堤の沖の方に防波堤を造ってはどうか。海のそばの家を津波の被害のない所にする等、人に被害の無いようにする。</p>
	<p>先を見ずえて、思いきった案で進めて欲しい。現状の復興ではなく、災害に強い街作りを徹底的にやって欲しい。</p>
	<p>今回浸水した所には大型商業店があるが、港近くにあるのはとても危険だと感じていた。 これからは安全な内陸側へ設置。</p>
	<p>海からほとんど高くない地域が被災している。災害(津波)はまた何時来るかもわからない。被害を受けた地域(津波で)には建築物を建てずに、高台に移住することを提案したい。いろいろな問題はあるだろうが、これは行政で解決してくれる事を願いたい。</p>
港湾の整備	<p>市道幹線の拡幅整備。アクセス道路の整備急務 道路整備(拡張)</p>
	<p>少しでも早く防波堤や防潮堤が修復される様をお願いします。 防波堤の整備を早くして欲しい。</p>
	<p>津波対策として、しっかりした防波堤の建設。 現在ある防波堤の数倍の高さにするとか、奥行きのある強固なものにする必要があると思う。</p>
	<p>従来の防波堤、防潮堤にプラスアルファした新しい堤を開発すべきと思う。</p>
	<p>今後、津波のことを考えると岸壁の強化、各施設の強化を強く望む。 これからの時代により大きな経済効果を得られるような港湾の復興に期待したい。</p>
海岸・河川の整備	<p>被災した港湾の中では一番先に復興できる位置にあると思うので、被害が大きく時間がかかる地域をカバーしつつ、拠点としての八戸港の基盤を築いていただきたい。</p>
	<p>市川地区は海に住宅地が近いので、今後、津波を防ぐ為の整備をしっかりして欲しい。 防潮堤を3mぐらい高く強化し、内側に県外から大量に出るガレキを使って防潮堤より高く埋立し、公園、風力、ソーラー発電を整備 産、官、学、民の連携により、ハード、ソフト全般において震災に強い都市整備を行って欲しい。 全国一、世界一なモデルケースになるまちづくりを行い、震災対応視察が来る様な世界の街に仕上げたい</p>

	津波で被災した。地震は個々の対策で防ぐことが可能だが、津波は個人では対応が困難。被災した防波堤、防風林の早急な対応を要望する。浸水対応が困難の場合は、移転先を行政に要望する。
	必要な公共工事についてはスピードをもって進めて欲しい。財務バランスばかり気にすることなく、市民が生活しやすい環境を整備することが必要。
道路・公園・下水道等の整備	今回の震災で停電の際、交通整理をする警察官を見なかった。大きな交差点は大変不安だった。今後は、事故のあった場所だけでも立って頂きたい。 震災後、市の職員の皆様のご苦労は大変なものだったと思う。本当にありがとうございました。バスも日曜ダイヤで時間も限定されていましたが、とても助かった。ありがとうございました。今回のガソリン不足は困りましたが、地域住民で声を掛け合って、同じ方向なら一台に乗り合って行くと思う。交替で乗せればガソリンも助かる。
	災害に遭ってからの復興は早く取り組む事は当然だが、地震であれば地盤が弱い所、液状化の起こる危険箇所を調査して公表して欲しい。火災では吹上地区の道路の狭い所があり、消防車、救急車が通りにくい所がある改善を。今回の津波に遭ったところの防災対策は特に早急をお願いしたい。
	被災後速やかに安全な道路を確保するため、障がい物の撤去をすぐ行うことが大事。 生活のしやすい町。自転車で走り易い町。
	路地等の道路が狭い 交差点に右折レーンを作って欲しい 道路が汚い(道路整備、除雪車等) 電柱、電線が見苦しい。 若い人達が八戸に残り、幸せな家庭を作れる様な市にして欲しい。 でかいスケール、時間を見通した建物(施設)をぜひ作って頂きたい。
	スポーツ施設は他県に比べ規模も小さく老朽化が激しい。 特に野球場、体育館はワイドに要改装。
公共交通	八戸駅から市営バスのアクセスの悪さ、時刻が不便。 交通面の点は、観光に悪い影響となる。
	第2の都市は栄えないといわれているので、市の顔(八戸駅)の充実。昔のまま、ただの特急停車駅になってしまう。
	通院している者にとって、バスが午後運休されると困る。 1時間に1本とか平均的に運行してはいかがか。

### 主に防災力の強化に関する意見等

	近々に、もっと大きな地震や津波が来そう。震災を教訓にして今後に向けて対応策を検討願う。 町内単位(班単位)の避難訓練の実施(消防団の指導のもと等で)
	今回のような大震災の場合、市民から一番頼りにされているのは行政に携わる方々だと思う。行政に携わる人は、災害、震災等を想定し訓練もしてきた。その実績が市民からも信頼されているはず。実績に基づく判断力と行動力に市民は頼る。
防災体制の強化	防災訓練、避難訓練は身に付いていなければ完全な成果は持続出来ない。 防災と産業の立地は大変な行政課題である。
	今回の震災により、県外からの物資供給が一時途絶え、食料品、ガソリン、電池等の震災時必要なものが足りなくなった時があった。各家庭の平等に供給する方法をもう少し検討すべき。
	在宅酸素の仕事をしていますが、脳卒中等の外部障がいと比べて内臓疾患の内部障がいの方に対する対応が冷たく感じた。 福祉の方が巡回に来たが、無事を確認しただけで帰り、酸素ボンベを使用しているため、自由に動けず、余震が不安だったとの声があった。 家族が同居していても、日中は一人の方も多く、一人で動けない人もいる。 災害時には臨時の福祉職員や民生委員の方を一時的にでも増やし、障がいを持った方にもっと親切に対応して欲しいと強く感じた。
	停電した際に自宅、職場、学校での連絡対応マニュアルを打合せしたらどうか。
	被災された市民、事業者への資金援助等を充実して欲しい。 防災無線のある田舎町出身なので、震災時、情報もなく不安。 あらためて防災無線、地域コミュニティーの重要性を感じた。
	避難路の周知 有線放送等を完備し、市等から放送を通じて確実な指示を早く出すと良いと思う。

	<p>震災後、市の被害状況が殆ど掴めなかった。今現在、自分たちのまわりで何が起こり、どう対応すればいいのかわからなかった。          地元の情報が(ライフライン、被害状況等)なく、自力で何とかしろと言われていたようで、市の情報連絡体制の冷たさを実感した。          家、土地、津波以外の被害は、対策の対象外なのか。無収入は厳しすぎる。</p>
	<p>津波等を知らせる車が移動しながら走っていると、方角や位置によって何を言っているのかわからない。避難指示すらわからなかった。場所を決めて、どこでも聞こえるようにしてほしい。          特に高齢者の方には、窓をあけて聞く態勢になるまでに時間がかかり、その時にはもう車が過ぎていて、何の事かわからずに自宅にいた方もいます。          今回の様に停電が続くと、特に情報がとれないので、ライフライン情報をどこで教えてくれるのかあらかじめ決めておいて広報などで毎回教えてほしい。</p>
	<p>市の対応が悪すぎる情報対応が無い          地震発生時の市民に対する情報発信が少ない。          役所、消防、警察の連携が弱く感じた。          災害本部をすぐ立ち上げ筋の通った情報伝達が必要          情報を早く知らせたい。          ライフラインの強化、事業所、会社などへの支援を速やかにしてほしい。          働く場所を早く稼働できるようにしてほしい。          停電時での情報配信をしっかりと何か考えて下さい。</p>
	<p>災害時のライフラインに対する情報をこまめに流してほしい。          断水・停電の復旧時期や地域等をなるべく正確に流してほしい。</p>
情報発信・	<p>私の家は津波警報が出ている場合、避難しないといけなかった様だが、避難を呼びかける広報車は全く聞こえなかった。          避難所よりも自宅の方が海から遠いという事もあり、結局避難はしなかった。          停電が大変だったが、水道は出ていたので助かった。停電に備えて、色々用意しておかないといけない事を感じた。</p>
連絡体制	<p>各地域毎に防災無線を付けてほしい。公平に全世帯に聞こえる様に。          当日は全てのライフラインがストップし大変困った。          午後5時頃に他県に住んでいる親族、友人よりメールで八戸、他県に津波が有り、大変な事になっていると知らされ心配された。          この災害が何も情報がない夜だったと思うとぞっとする。          人間も大事大切だが家族同様に生活しているペット等を飼っている方々の避難場所、ペット等を避難させる場所を作るよう考えてほしい。          TVを見て何とも言えない気持ちになる。          この教訓で、八戸はすごい、安心して住める様にしてほしい。          早く元気ある明るい八戸に！期待している。</p>
	<p>ライフラインに関して、日頃水道に関しては耐震強化が進んでいて断水という事もなくとても良かったと思う。          電気については、停電での信号機の停止が多く非常に危険を感じた。          また、情報量が少ない、現在の状況、復旧状況をもっと流してほしいと感じた。知る事によって不安やストレスが軽減される事もあるのでは。</p>
	<p>地域のFMラジオの周波数に合わせるだけで地震を知らせるブザーがなる商品がある。しかし、青森県では対応していない。テレビを見てなくても準備や心づもりができると思う。</p>
	<p>停電で情報が把握できなかった。          情報伝達をどの様にしていくか課題だと思う。</p>
	<p>電気が止まったので情報を得るのが困難で広報車などで状況を教えて欲しかった</p>
	<p>通信関係が電気で動いているが、電気を使わなくても状況を把握できる環境を整えてほしい。          停電の時、夜までかかるのかわからず、ローソクなど準備できなかった。町内とかで良いので情報を流してほしい。</p>
	<p>停電で、テレビの速報を見ることができず、津波が来ていることすら知ることができなかった。          電話も混雑していて、情報収集もできなかった。津波等で避難が必要な場合は、通信が停電でも可能な市からの携帯電話へのメールが、各自に送信される体制作りをしてほしい。</p>
	<p>市内全域に防災無線を設置し停電に備えてほしい。</p>
	<p>新しい情報の発信手段、情報の管理方法を考えて、一般市民に浸透する様にしてほしい。</p>
	<p>津波に関しての的確な情報の伝達。特に今回のような想定外の地震が発生した場合の津波の規模についての的確な情報を得られるようにしてほしい。停電時にNHKラジオのみの情報では、八戸市内の状況は良くわからない。</p>

	<p>転勤等で外部から来て市内に住んでいると、町内会に入っているだけでも孤立しやすいような気がします。地元の人でなくても安心して生活できる情報提供や相談場所がわかりやすいと良いと思う。</p>
	<p>情報連絡の徹底をする</p>
情報発信・連絡体制	<p>今回の津波に対しての情報は、自治体としてどのように連絡体制をとっていたのでしょうか。湊町の住民として不安になりました。防災無線は風向きによっては全く聞えてきません。サイレン等による避難指示など、早期改善をお願いします。津波がもう少しでも大きければ、完全に命を落としていました。</p>
	<p>知り合いが岩手県の大船渡で行方不明になった。運送業をしており、たまたま3月11日に荷物を積みに大船渡へ行き津波の被害に遭った。地元ではないため、情報も得られず、様子がおかしいと思い逃げようとした時にはもう遅かったようだ。地元の人ではなくとも「情報」を素早く知ることができれば良い。今回、情報を得ることの大切さを知った。この八戸でも誰もが情報をすばやく知るシステムを工夫していければいいと思う。</p>
	<p>停電の為、情報が遮断され、幼稚園の帰宅時間と重なり、近所の人から話を聞いて慌てて孫2人を連れて神社に避難した。津波が来るのも全然分からず、放送も何もありませんでした。以前から感じていたが、車で走りながら情報を流すのは全然聞き取れない。一定の場所を区切り、停車してマイクで話してくれる方が聞きやすいので、改善して欲しい。海岸線(岸壁)ばかりではなく、町内ごとに防災無線が配置されると安心。津波が来るたびハラハラしながら生活している人達は、的確な情報が欲しい。</p>
避難所について	<p>今回の震災では、大変心が痛みました。津波の事を甘く考えておりました。各地域で定期的に訓練を実施する事で各地域住民の希薄な関係も自然に和らぐのではないかと。小中野地区のように避難住民の数が増える海沿い・川沿いの地区住民の為に避難場所の確保も重要だと思ふ。今回の震災により一時的に小中野中学校に避難した友人は、横になる事も出来なかったとの事。車を津波により失い、新たに購入する場合助成金を出して欲しい。</p>
	<p>各地域ごとに海拔何m地点なのか、わかりやすく表示して欲しい。避難しなければならぬ地域ならば避難場所の位置も示し、地図にして各家庭に配布して欲しい。</p>
	<p>八戸市全体で防災訓練を実施すべきだ。各地区の避難場所が不明確です。</p>
	<p>障がい児・者は、集団生活が出来ない場合があるので、一般の方とは別に場所を用意してもらおうか、被害の無かった施設に入所できる方法を検討して欲しい</p>
	<p>避難場所の周知徹底をお願いします。</p>
	<p>避難が必要な地域では、障がい者や老人等への支援の強化が重要だと思った。避難所での床にダンボールをひいて生活をするなど、障がい者・老人への対策を考える必要があるのではと思った。</p>
	<p>避難所の閉鎖について被災した人々に対して、市側での配慮が適切でないと感じた。後で市長のコメントが載ったが、それも温かなくて、残念だった。同じ事を決めるにしても細心の思いやりをもって、言葉も選ぶべきだと思う。</p>
	<p>八戸でも被災した方々が公民館、その他の施設へ避難しましたが、市長さん、行政の方々が、その施設を4月末で閉めてしまい、被災者の方への相談、配慮の仕方がとても冷たく感じた。もう少し心の通った対応が出来なかったのかと残念でなりません。</p>
	<p>停電というだけで八戸市庁、はっちへ避難した人たちが多かったことを聞いて凄く驚いた。そのお陰で市川地区、湊浜方面の方々への見回りが遅れたとしたらと考えさせられる。現場で働く方々 お体を大切になさって下さいませ。</p>
	<p>今回の震災では、停電があり情報が得られずに、避難が必要かどうかの判断もつかずに戸惑った。市で公表しているハザードマップでは、浸水地域だったので、避難をした方がいいかと思ったが、避難場所もどこなのかという状況判断に困った。避難場所では、避難した人も大変混乱したと聞きました。日頃から地域での防災への意識を高めるためにも、訓練が必要なのではないかと感じた。</p>
<p>階上町などでは「津波が来たら線路より上に逃げる」という言葉が浸透していて、難を逃れた人も多かったと聞いた。防災訓練に参加できれば一番ですが、地域毎にこういったわかりやすい基準が設けられれば、どの年代の人にも伝わりやすいのではないかと思った。</p>	
<p>今回の震災で避難所になっている支所、公民館等で避難者拒否に近い対応があった。消防は大変有難かったとの声が聞かれたが、市役所は少し対応が悪かったように感じられる。</p>	

	<p>避難者にとって、一番安心感をあたえるのは明かりだと思う。江陽中に照明機器を提供しました。地域の方々から、感謝の連絡をいただきました。1台の照明で体育館が明るくて、心理的に安心感があったそうです。市でもそのようなことを考えるべきだと思う。新聞記事に江陽中の様子が載っています。他の避難場所に比べて、違いがわかると思う。</p>
	<p>今後、起きたときのために避難所にペットも一緒に避難できる場所も作った方がいいと思う。</p>
	<p>今回の震災で大変な思いされている方、本当にお気の毒です。命があれば何とかかなと思う。津波の来た地域には、家を建てないで、亡くなった方の名前を刻んだ石碑を立て、いつまでも忘れないような公園を作ってはどうか。 今回の地震を忘れないことが私たちの役目だと思う。 市民の力を引き出し、街や地域は自分達で復興させようとするリーダーを作り出し、震災を機に地域力を育てて欲しいと思う。 写真、映像、パネルなど、みんながよく出かけるところで、もっと被害の状況を知らせて欲しい。 3月11日を災害の記念日として、忘れないよう、記憶に残るように制定できればいいと思う。</p>
防災教育・意識の高揚	<p>3/11以降引越してきた。 引越しの手続きで市役所に行った際、具体的な避難先・方法の説明はしてもらえませんでした。また大きな災害があった場合、どこに避難するべきか分かりません。3/11以降3ヶ月が経とうとしていますが、いまだに自治体から知らされているとは思えない。 この様なアンケートを取る前にするべき事が多くあると思う。 今後の行政の対応を楽しみに期待している。</p>
	<p>八戸の被害は全国ニュースで取り上げられる事も少なくなり、以前と変わらず不自由な生活が送れる事で、震災を忘れがちになる。 震災記念館まではいかなくても、誰もが気軽に立ち寄れて、人と交流をもちながら震災についてしっかり把握できる集会場のような物を設けてもいいのではないかとと思う。 当日の写真を展示したり、津波の映像を軽く流したりして、人々が震災を極力忘れ去ってしまわぬよう考えられる空間を、『私はこんな体験をした』『自分は人の為にこんな事をした』等と書き込める掲示板等もあっていい。 市長等が、市内のレストランやデパート等を訪問し、市民に声をかけて、やる気を引き出してくれたり、活気付かせて欲しいと思う。 私は復興に向けて大した事はできないが、人を思いやる気持ちだけは持ち続けたいと感じた。 より良い街にしよう頑張ってる皆様に敬意を表します。</p>
	<p>避難場所に指定されている所(公共施設等)の海拔を知りたい。 例えば、岩手宮城のような津波がきたとき八戸だとのあたりまで危険なのか。 三陸はるか沖地震の後に防災の冊子が配布されたが、今回の大震災を踏まえて防災の冊子を作成して欲しい。</p>
	<p>今回の震災、特に八戸を中心とする沿岸被災の実態を今後何回かに分けて写真入の広報を発行して防災意識を高めるようにして下さい。 建物のチェックを厳しくして耐震化を強化して下さい。 町内会の連携を強化する様に取組んで欲しい。 東北の港湾都市としての施設設備の充実を図って下さい。</p>
	<p>八戸市の復興に役立つ人材として子どもの教育も大事。</p>
水・エネルギー対策	<p>今回のことを生かして、災害に対する備えをする必要があると思う。 特にお年寄りが一人で暮らす家などは、すぐに助けられるようにしなければいけないと思う。 建物の強化、河川・海の整備や、エネルギー・食料などの確保など、見直した方が良いと思う。</p>
	<p>がれきの撤去は、県や市と分けずに、処理した方がすばやいと思う。 津波の危険区域を広報に載せた方が市民全体の避難意識を高める事ができると思う。 八戸以外にもガソリン不足の影響を受けましたが、いざという時の為に備蓄タンクを増やし、困難なく給油できるようにしてほしい。</p>
	<p>福島県のようにならないように原子力発電を見直し、段階的にやめて太陽光発電、風力発電、地熱発電等環境に優しい発電を推進していきたい。</p>
	<p>団地に住んでいるので、断水となったので、給水車が出て欲しい(停電時)。</p>
	<p>兎に角停電の時間が長すぎます。電気は常に使える用にして欲しい。節電も大事ですが世の中は電気が無ければ、何も出来ない世の中になってると思う。それと燃料確保もお願いしたい。ガソリン・灯油・ガス、海から離れた場所にも貯めて置ける場所があったら。</p>
	<p>停電と道路の信号が困った。 電気・ガス・ガソリン・水道のインフラは行政の統制が必要だと思う。</p>

	<p>日々の生活が元通りになるのはもちろん、この災害で二次被害に遭っている。自営業の為、お客様が1ヶ月間、全くと言っていいほど、来店されなかった。ガソリン不足が一番大きく影響。交通手段がないのは、動きが止まり、何もする気にならない。この調査を基に何をしたら結果がはっきりと見えると調査の意味がある。集計だけで終わることのないように。また、今やっている事の結果も知りたい。</p>
災害に強い地域づくり	<p>ボランティア的な活動は必要ですが、若い人で仕事を持たない人は収入も無いため移動にもお金がかかり参加できない事もあります。市で少しでも助成があると若者の力がもう少し集まるかと思う。</p> <p>町内会は全て自主防災組織を設けて年に2回以上訓練する。</p>
	<p>震災初期に、各地へ入れなかった時の、八戸の役割を、再度検討し、十分な役目を、果たしたのか、もっとできる事がなかったか、バックアップ能力の充実を計りたい。</p> <p>各地にも、それを伝えられたら、互いに、支えあえるはず。</p>
	<p>今の震災で感じたことは、地域の人達とのコミュニケーションを普段から取っている方が良いということです。人の有難さが身にしみた。</p> <p>携帯ラジオ、電灯、反射式ストーブは必需品だと思った。</p>
	<p>地域のコミュニティー・絆を深めるために、町内会加入を積極的に進めてはいかがか。</p> <p>任意加入となっているが、特にアパート・マンション等に入居の方は、日常に於いても必要と思う。個人の生活が重んじられ、プライバシーが前面に出すぎて関わりが難しくなっている。市内で町内会加入率が高く効果的に機能している所は広報等で紹介もして下さい。</p> <p>地域での防災訓練の実践や演習～日常からの意識と体験の必要性大。</p>
	<p>私の住んでいる地域は近くで震災に遭っているにも関わらず、資金的な援助等もしておらず、町内会、連合会でもっと復興に向けての取り組み等、話し合ったりしてもいいのではないかと思う。</p>
	<p>停電し津波でやられたので、食事が大変で、ガソリンがないので買い物が大変でした。オニギリ出ないものかと言ったら12日夕方からオニギリが届いたが、その前に訪問して歩いて食事の方や薬など相談して欲しかったです。町内会長さんに電話してからくるもので、後手後手になって大変残念です。</p>

## その他の意見等

	<p>選択肢のあてはまる個数制限は止めて欲しい。質問内容によっては、全て当てはまるものもあった。行政のトップに居る方々は、今回のような災害時には早急な判断と行動を取って市民のために尽力していただきたい。</p>
アンケート調査	<p>アンケート調査をして、市、県、国は本当に早急に何かを進めるだろうか。</p> <p>政治家の行動力の悪さがっかり。</p> <p>個人では何一つ確実に果たすことが不可に過ぎない現在、本当に八戸市が一日も早くよき生活ができるように体制を整えてくれるだろうか。未だ信じ難い。</p>
	<p>このアンケートの集計・反映の開示を期待します。</p>
	<p>本来、問4～9の選択肢はどれも重要であり必要不可欠なことであり、2,3つの選択をするのはいかなものかと思う。</p>
	<p>八戸市の復興計画について質問が抽象的で目指す方向が見えない。</p> <p>いつもアンケートだけで終わっている気がするので、もっと真剣に考えて欲しい。</p>
その他の意見・要望等	<p>市職員の皆様の給料は私たち市民の税金です。残業代、手当など、見直す必要はないか。一番に復興事業を考え、被災された皆さんが元の生活に戻れるよう頑張ってください。また、八戸市が赤字財政にならないようお願いしたい。</p>
	<p>議員の削減をするべき。職員の給料、ボーナスを減らすべき。</p>
	<p>震災直後の市長のコメント「甚大なる規模の災害に、国レベルの超法規的措置が必要だ」のコメントに感動してました。しかし、残業手当の件は非常に残念。</p> <p>復興に向けた市民の感情を萎えさせる。気持ちさえ一つの方向に向かえば復興できる。その陣頭指揮を執る方々が印象を悪くしたことが残念。</p> <p>「千年に一度の未曾有の災害の時に、私たちの町では…」どう語り継がれるか。八戸は災害規模からしてモデルケースになるべく一番先に復興をとげなければなりません。頑張りましょう。</p>
	<p>市議会議員の定数を減らし、議員報酬の削減を図り、市職員の給与カットも実施し、復興に回す。</p>
	<p>実際に被災された人々との意見交換等を行政主導で行い、現在何が必要であるかを、優先順位を決めて実行する事が一番必要なのではないでしょうか。</p>
	<p>税制の改善。税の有効利用(本当に必要な事に使う)</p> <p>八戸一市民としてそれぞれの専門の先生方、行政の知恵で復興して頂ければと期待しております。</p> <p>何事も完璧ということはない。八戸の早い回復を願います。</p>

	自分達は被災しなかったが、仕事上の取引先が被災した為収入が減少した。皆が元気で幸せでなければ自分達も幸せになれないということを今回の震災で学んだ。被災された皆様の復興を心からお祈りします。
	私の住んでる地域はあまり被害はありませんでしたが、震災の爪痕を見るたびに心が痛む。私も避難生活を一週間ほど経験しましたが身体的にも精神的にも大変でした。どうか八戸がより良いまちになるよう願っています。私もより良くなるように協力していきたいと思う。
	すべての市民が平等の生活ができるように行政に頑張ってもらいたいと思う。
	他県から来た知人達は、八戸市は住み良い街だと言ってます。地元の私には実感はありません。より良い八戸になるように、努力したいし、希望を持たせる八戸市になって貰いたいです。
	このような災害をだれも信じられないと思った事でしょう。これからは意識を変えて復興に国民も参加し、災害に強い八戸、活気のある八戸、元気な八戸になるよう願っています。
	身内に家が浸水した者がおり我が家に1ヶ月家族で避難していました。ショックで病気になるのではとても心配でした。1日も早い浜の復興願います。
その 他 の 意 見 ・ 要 望 等	私自身、東日本大震災により被災しませんでした。被災された方々の事を思うと、同じ八戸市民として心が痛む。
	どうぞ市行政も早急な対応と復興を望む。
	八戸すきです。
	早期対応、早期支援
	震災の写真集(青森版)を作って、売上げの一部を支援に回したらどうでしょう。
	販売済みになった物には、八戸があまり載っていない様なので、後世に残せたらと思う。
	被災地から八戸という文字が消えていかなないためにも。
	市庁舎の駐車場を整備
	電話の市外局番3桁化へ要望強化
	国会議員、県議会議員、市議会議員の皆さんが一致団結して取り組むべき。
	天災・地災・人災を重大に考えより安全性を強化したまちづくり。
	何をしたいのか全く伝わってこないし、田舎は田舎だと思うので、静かにしてればよいのでは。無駄なお金は使わないで欲しい。私達の税金なので勝手な事はやめて欲しい。
	高齢なので、すこしの募金をした
	直接復興に関わる事が分かりませんが、今回の震災で、何億もの損失があったと思う。それで、市でも様々な取り組みを行うことと思うが、やはり金銭面(財政)でも大きいと思う。
生活保護を受けている人には、貰ったお金でギャンブル、家賃も滞納等々あります。調べた上で本当に保護が必要な人だけに給付するべきではないかと思う。	
私は高齢者です。何にも出来ません。皆さんのお世話になります。	
5階建ての集合住宅に住んでいますが建物が崩れないかと地震が恐いです。	
今のうちに柔軟な対応ができるものを作って欲しい。形骸化する組織ではなく、実働性のあるものを。	
八戸市での人的被害が少なかった事は素晴らしい事だと思う。その要因を分析し、次に活かすべき。	

(参考)アンケート調査票

はじめに、震災によるあなたの被災状況、避難行動などについてお尋ねします。

問1 あなたは、震災（地震および津波）によってどのような被害を受けましたか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んでを付けてください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 被害は無かった         | 2. 軽微な被害で生活が続けられた  |
| 3. 家屋や地盤の一部が損壊した   | 4. 家屋や地盤に大きな被害がでた  |
| 5. 仕事場（勤務先）が被害を受けた | 6. 自動車や船舶などに被害があった |
| 7. その他（            | ）                  |

問2 あなたは、今回の震災発生時に避難行動をしましたか。行動した場合は、何をきっかけに避難したか下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んでを付けてください。

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 避難していない                        | 2. 避難が遅れて津波に遭遇した       |
| 3. ラジオやテレビの情報で避難した                | 4. 防災無線や広報車の放送を聞いて避難した |
| 5. 勤務先での指示で避難した                   | 6. 人づてに知り避難した          |
| 7. メールやインターネット（携帯電話を含む）からの情報で避難した |                        |
| 8. その他（                           | ）                      |

問3 あなたは、震災以降、何か困っていることがありますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んでを付けてください。

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 震災の影響で収入が減少した       | 2. 震災の影響で解雇された |
| 3. 居住環境が悪化した           | 4. 体調や気分が悪化した  |
| 5. 困っている事があるが相談先がわからない | 6. 特に無し        |
| 7. その他（                | ）              |

八戸市を復興させる上でどのようなことが重要か、あなたのご意見をお尋ねします。

問4 あなたは、被災した方々の生活再建を進める上で、どのような支援策が重要だと考えますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を3つまで選んでを付けてください。

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 生活資金の支給や貸付     | 2. 児童・生徒の就学支援 |
| 3. 税・手数料等の減免、徴収猶予 | 4. 住宅確保の支援    |
| 5. 雇用支援の強化        | 6. 医療体制の充実    |
| 7. 健康と心のケアの支援     | 8. 福祉サービスの充実  |
| 9. 生活環境の充実        |               |
| 10. その他（          | ）             |

問5 あなたは、ものづくりや農林水産業、観光等の産業活動を再興させる上で、事業者に対してどのような支援策が重要だと考えますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を2つまで選んで を付けてください。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 低利融資または保証  | 2. 施設や設備の復旧に対する補助金 |
| 3. 雇用に対する助成金  | 4. 税金の特例措置         |
| 5. 経営の相談体制の充実 | 6. 風評被害の防止対策の強化    |
| 7. その他 (      | )                  |

問6 あなたは、復興に向けてどのように都市整備を進めれば良いと考えますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を2つまで選んで を付けてください。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 危険箇所の土地利用の見直し    | 2. 浸水を防御するための防波堤や防潮堤等の整備 |
| 3. 災害を防ぐための河川や海岸の整備 | 4. 避難に配慮した幹線道路の整備        |
| 5. 災害に備えた公園や緑地の整備   | 6. 公共施設の耐震強化             |
| 7. 災害に強い公共交通の整備     |                          |
| 8. その他 (            | )                        |

問7 あなたは、復興に向けてどのように港湾・漁港の整備を進めれば良いと考えますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を2つまで選んで を付けてください。

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 国際貿易港としてのコンテナ貨物等の物流機能の強化                |                           |
| 2. 水産業の拠点としての魚市場の集約化と衛生管理の高度化              |                           |
| 3. LNGターミナル <sup>1</sup> を活かしたエネルギー関連産業の集積 |                           |
| 4. 産直施設やマリナー <sup>2</sup> など観光・レジャー空間の創出   |                           |
| 5. 臨海部における憩いの空間と防災機能を備えた公園や緑地の整備           |                           |
| 6. その他 (                                   | )                         |
|  | 1 液化天然ガスを輸入し、国内に出荷するための基地 |
|  | 2 ヨットやレジャー用ボートを停泊・保管する場所  |

問8 あなたは、地震や水害等の大規模な災害に備えて、身近な地域ではどのような活動が重要と考えますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を2つまで選んで を付けてください。

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 防災知識や応急手当に関する講演会の開催 | 2. 防災訓練や避難訓練の実施     |
| 3. 高齢者等の要援護者の把握と支援     | 4. 地域での情報伝達や連絡体制づくり |
| 5. 食料や資機材の計画的な備蓄       | 6. 自主防災組織の設立と活動充実   |
| 7. その他 (               | )                   |

問9 あなたは、市全体として防災体制の強化を図る上で、どのようなことが重要だと考えますか。下の選択肢の中からあてはまる番号を3つまで選んでを付けてください。

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 情報連絡体制の充実                | 2. 小中学校での防災教育の充実     |
| 3. 防災訓練や避難訓練の実施             | 4. 避難場所や避難路の見直し・整備   |
| 5. 行政の危機対応力の強化              | 6. 救急・救護体制の強化        |
| 7. 生活物資の計画的な備蓄              | 8. 高齢者等の要援護者の支援体制の強化 |
| 9. ライフラインの耐震強化(上下水道、ガス、電気等) |                      |
| 10. その他( )                  |                      |

問10 あなたは、震災復興に向けて何か協力したいと考えていますか。下の選択肢の中からあてはまる番号を選んで を付けてください。

1. 協力したいと思う(既に協力している方を含む)
2. 協力するのは難しいと思う
3. わからない

問10-2 問10で「1. 協力したいと思う」と回答された方のみご回答ください。  
あなたは、具体的にどのようなことに協力できると考えていますか。下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んでを付けてください。  
(既に協力された方は、取り組んだことをご回答ください)

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 防災訓練等(市の行事)への参加  | 2. 地場産品の積極的な購入  |
| 3. 身近な地域活動への参加      | 4. ボランティア活動への参加 |
| 5. 停電を回避するための節電への協力 | 6. 復興に向けた資金的な援助 |
| 7. その他( )           |                 |

問11 この調査でお聞きしたことのほか、今後の八戸市の復興に向けてご意見・ご提案がありましたら、下の自由記入欄にご自由にご記入ください。

<自由記入欄>

裏面に続きます

